

2000 年春季年会

# 年会プログラム

於 東京大学

2000 年 4 月 3 日 (月) ~ 4 月 5 日 (水)

日本天文学会

# 日本天文学会 2000 年春季年会プログラム

場 所 東京大学 本郷キャンパス (案内図参照)  
 〒 113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 理学部  
 電 話・FAX 090-4387-6893 <使用期間 2000年4月2日(日)～4月5日(水)>

日 程

時刻	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
月日	会場	分 野				分 野					
4月3日 (月)	A	S. 銀河核			ポ ス タ ー	S. 銀河核			ジ ュ ニ ア セ ッ シ ョ ン	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム	
	B	L. 太陽系				J. 位置/K. 天力					
	C	T. 銀河団				T. 銀河団/Y. 教育					
	D	W. 飛翔観				W. 飛翔観					
	E	N. 恒 星				N. 恒 星					
	F	Q. 星 間				Q. 星 間					
4月4日 (火)	A	B. 銀河形成			評 議 員 会	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	P. 星形成		総 会	懇 親 会
	B	V. 地上観						V. 地上観			
	C	A. 天体プラズマ						A. 天体プラズマ			
	D	W. 飛翔観/M. 太陽						M. 太 陽			
	E	N. 恒 星						R. 銀 河			
	F	Q. 星 間						C. 降着円盤			
4月5日 (水)	A	P. 星形成			理 事 会	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	ポ ス タ ー	特 別 講 演			
	B	V. 地上観									
	C	X. 情報処理									
	D	M. 太 陽									
	E	R. 銀 河									
	F	U. 宇宙論									

A 会場：山上会館 (大会議室)  
 B 会場：理学部 4 号館 (1220 教室)  
 C 会場：理学部新 1 号館 (207 教室)  
 D 会場：理学部新 1 号館 (206 教室)  
 E 会場：理学部旧 1 号館 (150 教室)  
 F 会場：理学部旧 1 号館 (166 教室)

受 付：山上会館 2F (9時から)  
 休 憩 室：山上会館 2F (201+202 会議室)  
 ポスター会場：御殿下記念館  
 懇 親 会 場：第 2 食堂

ビジネスアワー：  
 ビジネスアワーには、集会や会合を  
 開くことができます。

講演数 合計 392 うち、  
 口頭講演 (a)：202、ポスター講演 (b)：134、ポスター講演 (c)：56

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円  
 追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)  
 年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

### ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は6会場で併行して行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表10分、質疑応答5分です。ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、4講演で15分を割り当て、座長の判断でまとめて質疑応答を行います。

※時間厳守:講演時間制限を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字b)、(添字c)は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、4月3日の9:30から4月5日の15:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPをご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

### ◎会期中の行事

- |              |       |             |     |
|--------------|-------|-------------|-----|
| 1. ジュニアセッション | : 1日目 | 16:00~18:00 | B会場 |
| 2. 天文教育フォーラム | : 1日目 | 18:00~19:30 | B会場 |
| 3. 評議員会      | : 2日目 | 12:00~13:00 | 会議室 |
| 4. 総会        | : 2日目 | 16:30~18:00 | B会場 |

主な議題 = ○1999年度事業報告

○1999年度収支決算報告・監査報告

○新評議員の承認

- |         |       |             |      |
|---------|-------|-------------|------|
| 5. 懇親会  | : 2日目 | 18:30~20:30 | 第2食堂 |
| 6. 理事会  | : 3日目 | 12:00~13:00 | 会議室  |
| 7. 特別講演 | : 3日目 | 14:30~16:30 | B会場  |

### ◎日本天文学会公開講演会

テーマ:「新しい望遠鏡が見た初めての宇宙」

日時: 2000年4月2日(日) 14:00~17:00 (13:30開場)

場所: 東京大学本郷キャンパス 安田講堂

対象: 中学生以上・一般

「富士山頂サブミリ波望遠鏡で探る星の誕生」

講演者 東京大学・助教授 山本 智

「すばる望遠鏡で見る遠宇宙」

講演者 国立天文台・教授 家 正則

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

## ◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

21世紀には、日本の探査機が太陽系天体に迫ります。サンプルを実際に手にとって調査できる日も遠くありません。しかしながら、教育現場では、夜間観測の困難さなどもあって、画像の紹介やワークシートによる演習に頼らざるをえない実情があります。物理、化学、生物などの分野とくらべて、実験することは難しく、モデル実験器なども限られています。そこで、天文学の室内実験、教具、教材を広く紹介し、小さなアイデアで、児童・生徒・学生をワクワクさせることのできるような、『天文学の隠し芸』、『大道芸人大会』を催したいと考えています。

テ ー マ : 「宇宙を教室の中へ」-天文学の室内実験-

概 要 : 体で感じることのできる天文学実験、教具、教材など 実演、展示

日時・場所 : 公開実験

2000年4月3日(月) 18:00～19:30 B会場(理学部4号館、1220教室)  
教材・教具の展示

2000年4月3日(月)～4月5日(水) ポスター会場(御殿下記念館)

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、年会基本登録料は不要です。  
年会受付で、その旨お伝え下さい。

実 行 委 員 : 鈴木文二(埼玉県立三郷工業技術高校)、水野孝雄(東京学芸大学)  
縣 秀彦(国立天文台)、山縣朋彦(文部省)

問い合わせ先: 鈴木文二(suzukibn@cc.nao.ac.jp)

## ◎特別講演

テ ー マ : 「宇宙論でどこまで分かったか？」

日 時 : 2000年4月5日(水) 14:30～16:30

場 所 : B会場(理学部4号館、1220教室)

講 演 I : QSO吸収線で探る宇宙初期元素合成

講 演 者 : David Tytler(カリフォルニア大学サンディエゴ校・教授)

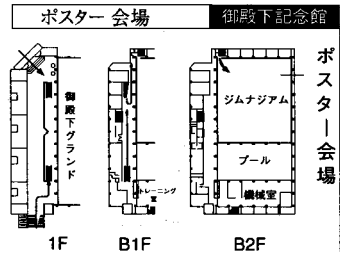
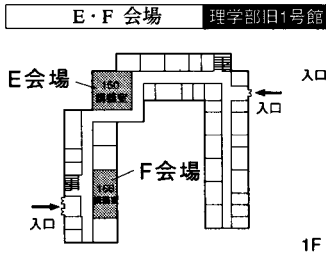
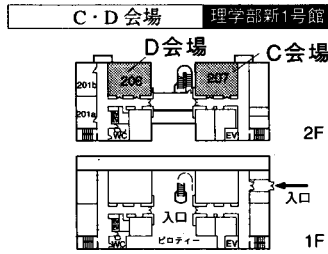
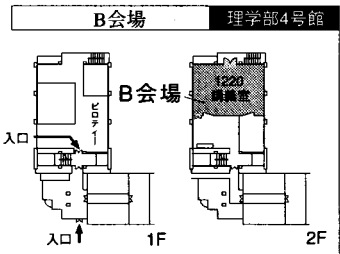
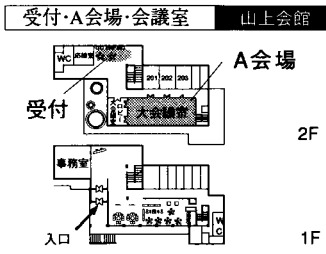
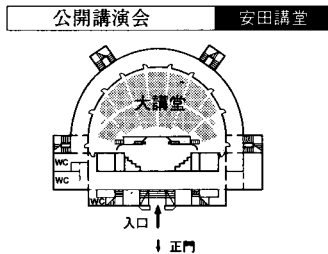
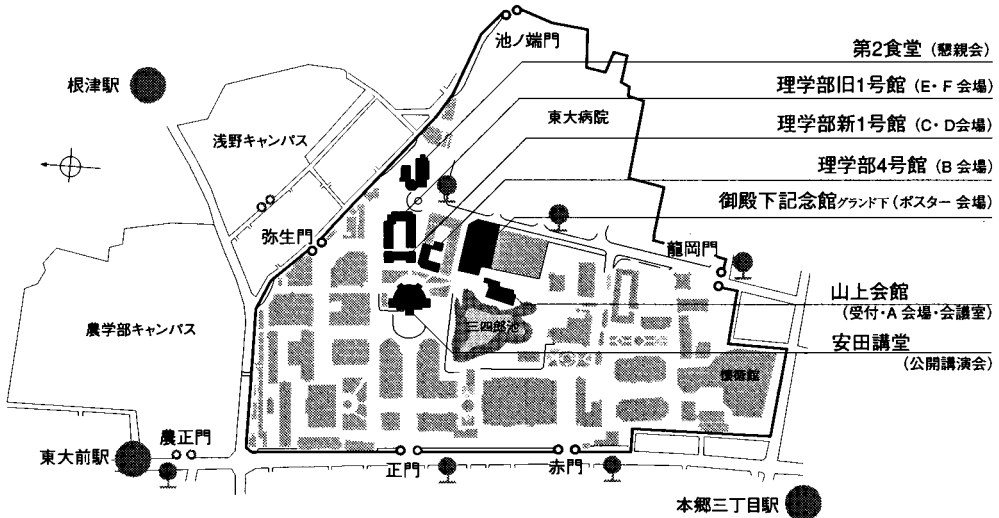
概 要 : 1990年代後半、大型望遠鏡の登場は観測的宇宙論の新しい扉を開いた。我々は、Keck 10m望遠鏡でのQSO吸収線上のD/Hの観測により、バリオン密度、宇宙初期元素合成の精密な測定に取り組んでいる。これまでの観測、議論を最新の成果も交えて紹介したい。また、大型望遠鏡時代の国際競争、協力関係や、欧米で具体化しつつある100mクラスの超大型望遠鏡の構想についても触れたい。

講 演 II : 宇宙論の来し方行く末

講 演 者 : 須藤 靖(東京大学・助教授)

概 要 : 1980年代以降、宇宙論は、素粒子物理学の発展と観測機器の進歩という理論のおよび観測的な2つの要因に支えられて飛躍的に理解が進んできた。これを受けて、21世紀に向けて大規模な宇宙論的観測プロジェクトが目白押しである。今世紀に我々が到達した最新の宇宙像を総括しながら、将来に残された課題とその展望について議論する。

# 春季年会会場（東京大学本郷キャンパス）のご案内



## 交通機関のご案内

### 地下鉄

- 本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）徒歩 8 分
- 東大前駅（地下鉄南北線）徒歩 5 分

- 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）徒歩 8 分

### バス

- お茶の水駅（JR中央線、総武線）

- 上野駅及び御徒町駅

- 都バス 茶 51 駒込駅、王子駅行又は
- 東 43 荒川土手行—東大（赤門前、正門前）下車
- 学バス 学 07 東大構内行—終点下車（¥170）

- 都バス 都 02 大塚行—湯島四丁目下車（御徒町駅のみ）
- 学バス 学 01 東大構内行—終点下車（¥170）

口頭セッション 4月3日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
10:00	【銀河核】 S01a	【太陽系】 L01a	【銀河団】 T01a	【飛翔観】 W01a	【恒星】 N01a	【星間】 Q01a
10:15	S02a	L02a	T02a	W02a	N02a	Q02a
10:30	S03a	L03a	T03a	W03a	N03a	Q03a
10:45	S04a	L04a	T04a	W04a	N04a	Q04a
11:00	S05a	L05a	T05a	W05a	N05a	Q05a
11:15	S06a	L06a	T06a	W06a	N06b, N07b N08b, N09b	Q06a
11:30	S07a	L07a	T07a	W07a	N10a	Q07a
11:45	S08a	L08b, L09b L10b, L11b	T08a	W08a	N11a	Q08b, Q09b Q10b, Q11b
12:00		L12b, L13b L14b				
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:00	ポスター					
14:00	【銀河核】 S09a	【位置】 J01a	【銀河団】 T09a	【飛翔観】 W09a	【恒星】 N12a	【星間】 Q12a
14:15	S10a	J02a	T10b, T11b T12b, T13b	W10a	N13a	Q13a
14:30	S11a	J03b	T14b	W11a	N14a	Q14a
14:45	S12b, S13b S14b, S15b	【天力】 K01a	【教育】	W12b, W13b W14b, W15b	N15a	Q15a
15:00	S16b, S17b	K02a	Y01a	W16b, W17b W18b, W19b	N16a	Q16a
15:15		K03a	Y02a	W20b, W21b W22b, W23b	N17a	Q17a
15:30		K04b	Y03a	W24b, W25b W26b, W27b	N18b, N19b N20b, N21b	Q18a
15:45			Y04b, Y05b Y06b	W28b, W29b W30b, W31b	N22a	Q19a
16:00-18:00	ジュニアセッション					
18:00-19:30	天文教育フォーラム					

口頭セッション 4月4日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	<b>【銀河形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【プラズマ】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【星間】</b>
09:30	B01a	V01a	A01a	W32a	N23a	Q20a
09:45	B02a	V02a	A02a	W33a	N24a	Q21a
10:00	B03a	V03a	A03a	W34a	N25a	Q22a
10:15	B04a	V04a	A04a	W35b, W36b W37b, W38b	N26a	Q23a
10:30	B05a	V05a	A05a	W39b, W40b	N27b, N28b N29b, N30b	Q24b, Q25b Q26b, Q27b
10:45	B06a	V06a	A06a	<b>【太陽】</b>	N31a	Q28b
11:00	B07a	V07a	A07a	M01a	N32a	
11:15	B08a	V08a	A08a	M02a	N33a	
11:30	B09a	V09a	A09a	M03a	N34a	
11:45	B10b, B11b B12b, B13b	V10b, V11b V12b, V13b	A10b, A11b A12b	M04b, M05b M06b, M07b		
12:00	B14b, B15b					
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:30	ポスター					
	<b>【星形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【プラズマ】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【降着円盤】</b>
14:30	P01a	V14a	A13a	M08a	R01a	C01a
14:45	P02a	V15a	A14a	M09b, M10b M11b	R02a	C02a
15:00	P03a	V16a	A15a	M12a	R03a	C03a
15:15	P04a	V17a	A16a	M13a	R04b, R05b R06b, R07b	C04a
15:30	P05a	V18a	A17a	M14a	R08b, R09b R10b, R11b	C05b, C06b C07b
15:45	P06a	V19b, V20b	A18a	M15a	R12a	
16:00	P07a		A19a	M16a	R13a	
16:15	P08a		A20a	M17a	R14a	
16:30-18:00	総会					
18:00-18:40	受賞記念講演					

口頭セッション 4月5日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	<b>【星形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【情報処理】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【宇宙論】</b>
09:30	P09a	V21a	X01a	M18a	R15a	U01a
09:45	P10a	V22a	X02a	M19a	R16a	U02a
10:00	P11a	V23a	X03a	M20a	R17a	U03a
10:15	P12a	V24a	X04a	M21a	R18a	U04a
10:30	P13a	V25a	X05a	M22a	R19a	U05a
10:45	P14b, P15b P16b, P17b	V26a	X06b, X07b	M23b, M24b M25b	R20a	U06a
11:00	P18a	V27b, V28b V29b, V30b		M26a	R21a	U07a
11:15	P19a	V31b, V32b V33b, V34b		M27a	R22a	U08a
11:30	P20a	V35b, V36b V37b, V38b			R23a	U09b
11:45	P21a	V39b			R24b, R25b R26b, R27b	
12:00	P22b, P23b				R28b, R29b	
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:30	ポスター					
14:30-16:30	特別講演					



## 【天体プラズマ】

A10b, A11b, A12b, A21c

## 【銀河形成】

B10b, B11b, B12b, B13b, B14b, B15b,  
B16c, B17c

## 【降着円盤】

C05b, C06b, C07b, C08c, C09c, C10c,  
C11c

## 【位置天文学】

J03b

## 【天体力学】

K04b

## 【太陽系】

L08b, L09b, L10b, L11b, L12b, L13b,  
L14b, L15c, L16c, L17c, L18c

## 【太陽】

M04b, M05b, M06b, M07b, M09b, M10b,  
M11b, M23b, M24b, M25b, M28c

## 【恒星】

N06b, N07b, N08b, N09b, N18b, N19b,  
N20b, N21b, N27b, N28b, N29b, N30b,  
N35c, N36c, N37c, N38c, N39c, N40c,  
N41c, N42c, N43c, N44c, N45c, N46c,  
N47c

## 【星形成】

P14b, P15b, P16b, P17b, P22b, P23b,  
P24c

## 【星間現象】

Q08b, Q09b, Q10b, Q11b, Q24b, Q25b,  
Q26b, Q27b, Q28b, Q29c, Q30c, Q31c

## 【銀河】

R04b, R05b, R06b, R07b, R08b, R09b,  
R10b, R11b, R24b, R25b, R26b, R27b,  
R28b, R29b, R30c, R31c, R32c, R33c,  
R34c

## 【活動銀河核】

S12b, S13b, S14b, S15b, S16b, S17b,  
S18c, S19c, S20c

## 【銀河団】

T10b, T11b, T12b, T13b, T14b, T15c,  
T16c, T17c

## 【宇宙論】

U09b, U10c, U11c, U12c, U13c, U14c

## 【地上観測機器】

V10b, V11b, V12b, V13b, V19b, V20b,  
V27b, V28b, V29b, V30b, V31b, V32b,  
V33b, V34b, V35b, V36b, V37b, V38b,  
V39b, V40c, V41c, V42c, V43c, V44c,  
V45c, V46c

## 【飛翔体観測機器】

W12b, W13b, W14b, W15b, W16b, W17b,  
W18b, W19b, W20b, W21b, W22b, W23b,  
W24b, W25b, W26b, W27b, W28b, W29b,  
W30b, W31b, W35b, W36b, W37b, W38b,  
W39b, W40b, W41c

## 【情報処理】

X06b, X07b, X08c, X09c

## 【天文教育・その他】

Y04b, Y05b, Y06b, Y07c

A. 天体プラズマ (C会場)

<p>4/4(火) 09:30</p> <p><b>A01a</b> An Impulsive Flare Accompanied by a Cusp-Like Structure V. Grechnev and H. Nakajima (Nobeyama Radio Observatory)</p> <p>09:45</p> <p><b>A02a</b> 太陽フレアの磁気リコネクション流入流の発見 横山央明 (国立天文台)、秋田 亨 (大阪学院大流通科学)、森本太郎、井上勝博 (京大理)、J. Newmark (NASA/GSFC)</p> <p>10:00</p> <p><b>A03a</b> 太陽フレアにともなうX線放出物とループ上空の高温領域について 秋山幸子 (総研大)、原 弘久 (国立天文台)</p> <p>10:15</p> <p><b>A04a</b> 四重極磁場中における磁気リコネクション 廣瀬重信、内田 豊 (東京理科大学)、上村周平 (日本NAG)、山口智孝 (東京理科大学)</p> <p>10:30</p> <p><b>A05a</b> ガンマ線バーストと内部衝撃波 小林史歩 (阪大理)、Re'em Sari (Caltech)</p> <p>10:45</p> <p><b>A06a</b> ガンマ線バーストのfireball熱的放射モデル 井上 進 (東大宇宙線研)</p> <p>11:00</p> <p><b>A07a</b> 銀河団中の相対論的粒子とガンマ線放射 内藤統也 (山梨学院大)、滝沢元和 (東大ビッグバン宇宙国際研究センター)</p> <p>11:15</p> <p><b>A08a</b> 衝撃波形成を伴う宇宙ジェットの磁気流体力学数値シミュレーションII 工藤哲洋 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大)、柴田一成 (京大)</p> <p>11:30</p> <p><b>A09a</b> ブレーザーの多波長スペクトル解析 紀 基樹、高原文郎 (阪大理)、楠瀬正昭 (関西学院大理)</p> <p>11:45</p> <p><b>A10b</b> 太陽フレアに伴うデシメートル波帯スパイクバーストの統計的特徴 堀 久仁子 (国立天文台野辺山)</p> <p><b>A11b</b> パルサーの粒子シミュレーション:A Toy Pulsar 平林裕之、柴田晋平 (山形大理)</p> <p><b>A12b</b> 銀河団衝突による銀河団高温プラズマでの衝撃波粒子加速と非熱的放射 滝沢元和 (東大ビッグバン宇宙国際研究センター)、内藤統也 (山梨学院大)</p>	<p>4/4(火) 14:30</p> <p><b>A13a</b> ミラー磁場中のアルフベン波による沿磁力線電場形成と粒子加速 中村 匡 (福井県立大)</p> <p>14:45</p> <p><b>A14a</b> 磁気リコネクションによる電子の加速加熱: GEOTAIL 衛星観測とシミュレーション研究 星野真弘 (東大理)、向井利典 (宇宙研)</p> <p>15:00</p> <p><b>A15a</b> GEOTAIL 観測による衝撃波粒子加速研究 寺沢敏夫 (東大理)、西田篤弘 (宇宙研)</p> <p>15:15</p> <p><b>A16a</b> 位相捕捉機構による平行衝撃波での粒子加速現象 杉山 徹、藤本正樹 (東工大理)</p> <p>15:30</p> <p><b>A17a</b> 大きなマッハ数をもつ衝撃波での電子加速 島田延枝、星野真弘 (東大理)</p> <p>15:45</p> <p><b>A18a</b> カオス宇宙線の空間分布と起源 海野和三郎、北村 崇、大原荘司 (カオス宇宙線研究グループ)</p> <p>16:00</p> <p><b>A19a</b> 超新星に伴う磁気リコネクションの数値シミュレーション: 3次元効果 田沼俊一 (東大理)、横山央明 (野辺山)、工藤哲洋 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)</p> <p>16:15</p> <p><b>A20a</b> 超新星残骸での粒子加速における逆行衝撃波の役割 吉田龍生、柳田昭平 (茨城大理)</p> <p>.....</p> <p>ポスターのみ</p> <p><b>A21c</b> Alfvén 波の入射に伴うMHD 衝撃波の下流プラズマ構造の変動 坪内 健、寺沢敏夫 (東大理)</p>
--	--

## B. 銀河形成 (A 会場)

4/4(火)	09:30	<b>B01a</b> The Fate of Very Early Collapsed Objects 大向一行、西 亮一 (京大物理)	4/4(火)	<b>B12b</b> クェーサー BR1202-0725 周辺領域での [OIII]3727 輝線天体探査 松本 剛、太田耕司、舞原俊憲、岩室史英、寺田 宏、後藤美和、本原顕太郎、田口智之、秦 隆志 (京大理)、すばる望遠鏡チーム
	09:45	<b>B02a</b> Self-Regulation of Star Formation in Low Metallicity Clouds 田代基慶、西 亮一 (京大理)		<b>B13b</b> Suprime-Cam Pilot Deep Survey による High-z Ly $\alpha$ 輝線天体探査 大内正己、嶋作一大 (東大理)、for the Suprime-Cam Pilot Deep Survey チーム
	10:00	<b>B03a</b> クェーサー吸収線系を用いた宇宙密度ゆらぎの決定 梅村雅之 (筑波大計算物理)、白津和夫 (筑波大物理)、中本泰史、須佐 元 (筑波大計算物理)、鈴木尚孝、D. Tyler (UCSD)		12:00 <b>B14b</b> z ~ 1 の銀河ハローガスの状態 傳田紀代美 (Lick Observatory/ 国立天文台)
	10:15	<b>B04a</b> 紫外輻射場中での宇宙論的天体形成 須佐 元 (筑波大計算物理)、北山 哲 (都立大理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)		<b>B15b</b> 楕円銀河の色 - 等級関係への銀河の合体の効果について 長島雅裕 (京大基研)、郷田直輝 (国立天文台)
	10:30	<b>B05a</b> 熱的過安定は分裂スケールに影響するか? 山田雅子、西 亮一 (京大理)		ポスターのみ
	10:45	<b>B06a</b> Gas Stripping of Dwarf Galaxies in Clusters of Galaxies 森 正夫 (東大天文学センター)、Andreas Burkert (MPIA)		<b>B16c</b> 背景紫外線輻射場中の原始銀河雲の光電離と水素分子冷却の条件 田尻祐紀子 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)
	11:00	<b>B07a</b> Bright Elliptical Galaxy Formation: Hierarchical Clustering vs. Monolithic Collapse 河田大介 (東北大理)		<b>B17c</b> 原始ガス雲の重力収縮と分裂過程 釣部 通 (京大理)、大塚修一郎 (国立天文台)
	11:15	<b>B08a</b> 銀河団内銀河の性質と銀河進化モデル 岡本 崇 (北大理)、長島雅裕 (京大基研)		
	11:30	<b>B09a</b> Galaxy Number Counts in IR-wavebands through Gravitational Lensing Clusters I 米原厚憲、吉川耕司、竹内 努 (京大理)		
	11:45	<b>B10b</b> Galaxy Number Counts in IR-wavebands through Gravitational Lensing Clusters II 吉川耕司、米原厚憲、竹内 努 (京大理)		
		<b>B11b</b> High Resolution CO (J=2-1) and 1.4 GHz Radio Continuum Observations of the Forming Galaxy BR1202-0725 at z = 4.7 河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台野辺山)、太田耕司 (京都大学)、筒井芳典 (東京大学)、山田亨 (東北大学)、Chris Carilli、Min S. Yun (NRAO)		

C. 降着円盤 (F 会場)

4/4(火) 14:30	<b>C01a</b> Super-Eddington Accretion Disk Models for SS 433 奥田 亨 (北海道教育大)	4/4(火) 15:30	<b>C06b</b> 大局磁場中降着流モデルの各種銀河核への適用 山崎尚宏、鍋木 修、紀 基樹 (東北大理)
14:45	<b>C02a</b> 大局的3次元数値実験に基づく降着円盤における磁気乱流の構造解析 町田真美 (千葉大自然)、林 満 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)		<b>C07b</b> 超臨界降着円盤へのホイル=リットルトン降着 花本圭史、五百蔵雅之、福江 純 (大教大教育)
15:00	<b>C03a</b> カーブラックホールの磁気降着円盤とジェット形成 小出眞路 (富山大工)、D. L. Meier (JPL)、柴田一成 (京大理)、工藤哲洋 (国立天文台)	ポスターのみ	
15:15	<b>C04a</b> ミレニアムディスク超臨界降着円盤の諸性質— 福江 純 (大阪教育大学教育学部)		<b>C08c</b> 超臨界降着円盤 in 超軟X線源 福江 純 (大教大教育)、松本 桂 (京大理)
15:30	<b>C05b</b> 高速自転する中性子星と降着円盤の磁氣的相互作用の2.5次元数値実験 加藤成晃 (千葉大自然)、林 満 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自然)		<b>C09c</b> 降着円盤の遷移層での捕獲振動 加藤正二 (奈良産業大経営)、萬本忠宏 (京大理)
			<b>C10c</b> 光学的に厚い移流優勢円盤のスペクトル—質量、粘性、相対論的效果の依存性— 渡会兼也、福江 純、竹内 充 (大教大教育)、嶺重 慎 (京大理)
			<b>C11c</b> カー時空におけるアドヴェクション優勢降着流のイメージ 萬本忠宏 (千葉大理)

J. 位置天文学 (B 会場)

4/3(月) 14:00	<b>J01a</b> 21世紀最初の初日の出は、どこが一番早い 佐藤 勲 (渡辺技術研究所)	4/3(月) 14:30	<b>J03b</b> スwitching相対VLBI観測による系外天体と系内天体との相対離角の決定 蜂須賀一也 (総研大水沢)、VERAグループ
14:15	<b>J02a</b> Sgr A*の視差測定におけるクエーサーの重力レンズ位置揺らぎ 細川瑞彦 (通信総研)、大西浩次 (長野高専)、福島登志夫 (国立天文台天文情報センター)		

K. 天体力学 (B 会場)

4/3(月) 14:45	<b>K01a</b> シンプレクティック積分法における丸め誤差の軽減 福島登志夫 (国立天文台天文情報公開センター)	4/3(月) 15:15	<b>K03a</b> 非剛体地球の章動理論の改良 白井俊道 (東大理)、福島登志夫 (国立天文台)
15:00	<b>K02a</b> 運動量について4次の多項式第一積分を持つ2次元同次多項式ポテンシャル系 中川克也 (総研大)	15:30	<b>K04b</b> Long-term integration error of KS-regularized orbital motion 荒木田英禎 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台)

## L. 太陽系 (B 会場)

4/3(月)	4/3(月)
10:00 L01a Syrtis Major 領域に於ける Blue Clearing 現象に対する Martian Equatorial Clouds の寄与 中串孝志 (京大宇宙物理)、赤羽徳英 (飛騨天文台)、岩崎恭輔 (京都学園大)、S.M. Larson (LPL, Univ. of Arizona)	L10b 可視冷却 CCD カメラによる地球-月系の秤動雲の観測 高橋 茂 (神戸大自然)、中村良介 (神戸大情報処理センター)、石黒正晃、藤井康正、浦川聖太郎、吉下千秋、向井 正 (神戸大自然)
10:15 L02a 小惑星の光度/偏光時間曲線の観測 吉田二美、石黒正晃、高橋茂 (神戸大自然)、篠川弘司、向井 正 (神戸大理)、川端弘治 (国立天文台)、古莊玲子 (理化学研究所)	L11b 木曾太陽系外縁部サーベイ II - 1 年目の反省と今後の方針 - 木下大輔、山本直孝 (東京理科大)、宮坂正大 (東京都庁)、渡部潤一 (国立天文台)
10:30 L03a カイパーベルト領域における永年共鳴の移動 長沢真樹子 (東京工大)、井田 茂	12:00 L12b 新たな小惑星探査ミッションに向けた探査機軌道の検討 吉川 真、山川 宏、安部正真、藤原 顕 (宇宙研)、片山雅英 (CRC 総研)、矢野 創 (宇宙研)
10:45 L04a Hale-Bopp 彗星コマ中における NH <sub>2</sub> 分子の回転励起温度について 河北秀世 (ぐんま天文台)、綾仁一哉、川端哲也 (美星天文台)	L13b 木星面偏光度分布の位相角及び波長依存性 太田菊代、坂本康朗、大場庸平、伊藤誠悟、小宮 全、山本直孝、川端 潔 (東京理科大)、佐藤毅彦 (東京理科大フロンティア研究センター)、竹内覚 (福岡大理)、長谷川 均 (アステック)
11:00 L05a Lee 彗星(C/1999H1)に見られたアンチ・テイルの解析 山本直孝、木下大輔、川端 潔 (東京理科大)、福島英雄、渡部潤一 (国立天文台)	L14b 木星赤外オーロラ粒子の起源と加速メカニズム 佐藤毅彦 (東理大FRCCS)、Connerney, J. E. P. (NASA/GSFC)
11:15 L06a MUレーダーによるしし座流星群の観測 - 1999 年の極大の特徴 - 渡部潤一 (国立天文台)、阿部新助 (総研大/国立天文台)、中村卓司、津田敏隆 (京大超高層)、堤 雅基 (極地研)、佐々木明之 (東京理大理)	ポスターのみ L15c 可視~近赤外をカバーする木星雲粒子の汎用散乱位相関数 伊藤誠悟、川端 潔 (東京理科大)、佐藤毅彦 (東京理科大FRCCS)
11:30 L07a 超高感度ハイビジョンカメラによる「しし座流星群」スペクトル観測-'99 NASA 国際航空機観測ミッション - 阿部新助 (総研大/国立天文台)、矢野 創 (宇宙研)、海老塚昇 (通総研)、渡部潤一 (国立天文台)	L16c MUSES-C ターゲット天体 1989ML の CISCO による近赤外測光観測 吉田二美、中村良介 (神戸大)、藤原 顕、安部正真 (宇宙研)、本原 顕太郎、岩室史英、舞原俊憲 (京大)、CISCO グループ、すばる望遠鏡プロジェクトチーム
11:45 L08b 1999 年しし座流星群流星痕同時観測キャンペーン (観測結果版) 戸田雅之 (日本流星研究会)、山本真行 (東北大理)	L17c 彗星核の 3 次元モデル 長谷川 均 (アステック)、D. C. Boice (SwRI)、室井恭子、田辺玲奈 (東京学芸大)、渡部潤一 (国立天文台)
L09b 可視冷却 CCD カメラによるダストトレイルの観測 浦川聖太郎 (神戸大自然)、中村良介 (神戸大情報処理センター)、石黒正晃、高橋 茂、藤井康正、向井 正 (神戸大自然)	L18c 惑星間ダストバンドの力学進化 石黒正晃 (神戸大自然)、中村良介 (神戸大情報処理センター)、中田 昌 (西明石天文台)、吉下千秋、藤井康正、浦川聖太郎、向井 正 (神戸大自然)

## M. 太陽 (D会場)

4/4(火)		4/4(火)	
11:00	<b>M01a</b> 太陽黒点 NOAA8545 領域における速度場構造 高津裕通、北井礼三郎、船越康宏 (京大附属天文台)	16:00	<b>M16a</b> TRACE データによるアーケードフレア 内田 豊 (東京理科大)、Alan Title (LPARL)、久保雅仁、田中智宏、森田 諭、広瀬重信 (東京理科大)
11:15	<b>M02a</b> 赤外 1.6 $\mu\text{m}$ での太陽磁場の観測 桜井 隆、木挽俊彦、柳沢顕史 (国立 天文台)、笠原将一 (明星大)、中久保 佳代子 (杉並区立科学教育センター)	16:15	<b>M17a</b> High-Energy Particle Production in the 1997 November 6 Event Masato Yoshimori (Dept. of Phys., Rikkyo Univ.)
11:30	<b>M03a</b> コロナ加熱メカニズムと光球磁場の関係 八代誠司 (東大理)、柴田一成 (京大理)	4/5(水)	
11:45	<b>M04b</b> 光球面同一領域の飛驒・乗鞍偏光同時観 測によるデータの比較検討 上野 悟、北井礼三郎、吉村圭司 (京 大理)、篠田一也、一本 潔 (国立天文 台)、山崎高幸 (明星大)	09:30	<b>M18a</b> コロナ X 線強度の時間変動から得られる ナノフレアの情報 勝川行雄 (東大理)、常田佐久 (国立 天文台)、Grigory Vekstein (UMIST)
	<b>M05b</b> Expansion process of emerging flux tube II 真柄哲也 (京大理)	09:45	<b>M19a</b> 高温ループと低温ループの時間発展、定 常コロナの加熱機構 永田伸一 (東大理)、常田佐久 (国立 天文台)
	<b>M06b</b> 浮上磁場の 3 次元モデル: 対流の効果 野澤 恵 (茨大理)、柴田一成 (京大理)	10:00	<b>M20a</b> コロナの加熱と太陽風の起源 平山 淳 (明星大)
	<b>M07b</b> 太陽内部自転角速度遷移層での化学組成勾配 柴橋博資 (東大理)、高田将郎 (ケン ブリッジ大)	10:15	<b>M21a</b> 第 23 太陽活動サイクル上昇期における CME と惑星間空間擾乱の特徴 渡邊 堯 (茨城大理)、小島正宜、徳丸 宗利 (名大 STE 研)
14:30	<b>M08a</b> プロミネンス (フィラメント) 消失とコ ロナアーケイド生成の相関について 森本太郎、黒河宏企 (京大理)	10:30	<b>M22a</b> 1999 年 2 月 18-19 日に観測された惑星間 空間擾乱と南北半球を結ぶ軟 X 線ループ 亙 慎一 (通総研)、渡邊 堯 (茨大理)
14:45	<b>M09b</b> 1998 年 5 月 20 日のフィラメントの突然 消失について 時政典孝 (兵庫県立西はりま天文台)、 久保田諄 (大阪経済大)	10:45	<b>M23b</b> 惑星間空間衝撃波に先行するプロトンフ ラックスの増大について 田 光江 (通総研平磯)、吉田龍生 (茨 城大理)
	<b>M10b</b> サイクル 22 における X 線フレアの南北 非対称 鈴木美好 (津高校)、久保田諄 (大阪 経済大)		<b>M24b</b> X-ray Bright Point の強度分布について 中久保佳代子 (杉並区立科学教育セン ター)、原 弘久 (国立天文台)
	<b>M11b</b> Spatial Fragmentation of the Microwave Emission in a Geoeffective Flare V. Grechnev (Nobeyama Radio Observatory)、 R. Sych, A. Altyntsev, E. Afraimovich (Institute of Solar-Terrestrial Physics, Irkutsk, Russia)		<b>M25b</b> 皆既日食に伴う気圧場の変動 高橋典嗣 (明星大学)、坪田幸政、松 本直記 (慶應義塾高等学校)
15:00	<b>M12a</b> 太陽フレアシナリオとしての高ベータブ ラズマ崩壊 柴崎清登 (国立天文台野辺山)	11:00	<b>M26a</b> 1991 年の日食データ解析から導かれる コロナの新しい描像 武田 秋、黒河宏企、北井礼三郎、石 浦清美 (京大天文台)
15:15	<b>M13a</b> 太陽フレアの高速 $\text{H}\alpha$ 撮像とそのサイエンス 花岡庸一郎、桜井 隆、一本 潔 (国立 天文台)、北井礼三郎、高津裕通 (京大)	11:15	<b>M27a</b> 太陽コロナのアネモネ型と南北型のスト リーマー構造 斎藤尚生 (東北大 OB)、下条圭美 (宇 宙研)、K.P.Dere (NRL, USA)、柴田 一成 (京大理)、三澤浩昭 (東北大理)
15:30	<b>M14a</b> 1999 年 5 月 3 日に起きた LDE フレア 矢治健太郎 (かわべ天文公園)		ポスターのみ
15:45	<b>M15a</b> 1992 年 2 月 21 日のフレアにおける blob の問題 森田 諭、内田 豊、広瀬重信 (東京理 科大)		<b>M28c</b> 乗鞍液晶ボラリメータによる太陽活動領 域の偏光観測 川上新吾 (大阪市立科学館)、一本 潔 (国立天文台)、菅村一朗 (大阪府立高 専)、篠田一也 (国立天文台)

## N. 恒星 (E会場)

4/3(月)		4/3(月)	
10:00	N01a $\beta$ Cephei の Oblique Pulsator Model と星震学 II 柴橋博資 (東大理)、Conny Aerts (ルーヴァン大)	14:00	N12a X線衛星 Chandra の発見したカシオペア A の点光源は中性子星かブラックホールか? 梅田秀之 (東大理)、嶺重 慎 (京大理)、野本憲一 (東大理)、鶴田幸子 (モンタナ州大物理)
10:15	N02a 早期 M 型超巨星における水蒸気 の存在: 歴史的教訓 辻 隆 (東大理)	14:15	N13a GX339-4 の多波長観測(II)-X線スペクトルと時間変動- 根来 均 (理研)、久保田あや (東大理)、Philippe Durouchoux (SACLAY/CEA)、他
10:30	N03a ミラ型変光星における H <sub>2</sub> O スペクトルの時間変動 松浦美香子 (宇宙研、東大理)、山村一誠 (宇宙研)、Teije de Jong (アムステルダム大)、尾中 敬 (東大理)、村上 浩 (宇宙研)	14:30	N14a 「あすか」による Cir X-1 の観測: スペクトルにみられる輝線、吸収端構造 浅井和美 (神奈川大工、宇宙研)、堂谷忠靖 (宇宙研)
10:45	N04a 炭素星分光解析に必要な分光データのデジタル化 平井正則 (福岡教育大)、久保宏之 (照曜中学)、内海和彦 (広島大総合科学)	14:45	N15a X線新星 XTE J1859+226 の可視光観測 加藤太一、植村 誠 (京大理)、E. Pavlenko、S. Shugarov、M. Mitskevich (Crimean Astrophysical Observatory)
11:00	N05a 矮新星 DV UMa のスーパーアウトバースト時における食の測光観測 植村 誠、加藤太一 (京大理)、Rudolf Novak (Nicholas Copernicus Observatory)、Brian Martin (The King's College)、Timo Kinnunen、Lew Cook、Lasse Teist Jensen (VSNET Collaboration Team)	15:00	N16a 「あすか」によるブラックホール降着円盤の X線スペクトル詳細解析 久保田あや、牧島一夫、水野恒史、中澤知洋 (東大理)、海老沢研 (GSFC)
11:15	N06b Period gap 以下で食を示す矮新星 V893 Sco の可視光観測 松本 桂、加藤太一 (京大理)、Mennickent, R.E. (Univ. de Concepción)	15:15	N17a 近傍渦巻銀河にある強 X線源から放射機構の、「あすか」による観測的研究 水野恒史 (広大理)、牧島一夫、久保田あや (東大理)
	N07b 食連星 RZ Cas の主星に見られる短周期振動成分の分光的検出の試みと周期の安定性について 大島 修 (鴨方高等学校)、藤井 貢 (藤井美星観測所)、森川孝一 (井原市教育委員会)、宇野喜和 (旭化成)、鳴沢真也、Fredy Doncel (西はりま天文台)、赤沢秀彦 (寄島中学校)、五百蔵雅之 (大阪教育大)	15:30	N18b 超強磁場のサイクロトロン線への photon splitting の影響 西村 治 (長野高専)
	N08b 短周期連星系 V392 Ori の解析 鳴沢真也 (西はりま天文台)、山崎篤磨 (防衛大学校)、中村泰久 (福島大教育)		N19b SMC の transient pulsar XTE J0111.2-7317 の「あすか」による観測: soft excess の pulsation の発見 横川 淳 (京大理)、Biswajit Paul、尾崎正伸、長瀬文昭 (宇宙研)、Deepto Chakrabarty (MIT)、竹島敏明 (NASA/GSFC)
	N09b A型星の X線放射 志岐成友 (国立天文台)、大木健一郎 (国立天文台)		N20b Two Scenarios for Type I X-Ray Outbursts in Be/X-Ray Binaries 岡崎教男 (北海学園大工)、I. Negueruela (SAX SDC)
11:30	N10a 鹿島 34m アンテナにおけるミリ秒パルサー連続観測データ解析 花土ゆう子、渋谷靖久、関戸 衛、細川瑞彦、今江理人 (通信総研)		N21b 磁気双極モーメントを持つコンパクト連星からの重力波 井岡邦仁 (京大理)、谷口敬介 (京大基研)
11:45	N11a 「あすか」による、強磁場激変星を用いた共鳴散乱の検証 寺田幸功、牧島一夫 (東大理)、石田 学、松崎恵一 (宇宙研)、今成 武 (東大)	15:45	N22a ソフトガンマリピーターからの重力波は検出できるか? 井岡邦仁 (京大理)

4/4(火)			ポスターのみ
09:30	N23a	パルサー磁気圏からの $\gamma$ 線輻射 広谷幸一 (国立天文台)	N35c Near-Infrared Spectroscopy of the Cool Brown Dwarf, SDSS 1624+00 Tadashi Nakajima (NAO)、Takashi Tsuji (IoA, U. of Tokyo)、Toshinori Maihara, Fumihide Iwamura, Ken-taro Motohara, Tomoyuki Taguchi, Ryuji Hata (Kyoto U.)、Motohide Tamur (NAO)、Takuya Yamashita (Subaru Telescope, NAOJ)
09:45	N24a	準平衡状態にある連星中性子星一状態方程式の影響— 臼井文彦 (東大総合文化)、瓜生康史 (SISSA)、江里口良治 (東大総合文化)	N36c HR5049 の 2 回電離した希土類元素 西村昌能 (京都府立向陽高校)、定金晃三 (大阪教育大)、加藤賢一 (大阪市立科学館)、G. Mathys (ESO)
10:00	N25a	高速回転中性子星における r-mode 不安定 鷹野重之、吉田慎一郎 (東大総合文化)、吉田至順 (東北大理)、江里口良治 (東大総合文化)	N37c 銀河中心領域の X 線大局構造(III) — 明るい点源の性質 坂野正明、村上弘志 (京大物理)、「あすか」銀河面銀河中心サーベイチーム
10:15	N26a	Non-isentropic 星の回転モードと永年の不安定 吉田至順、李宇王民 (東北大理)	N38c Polarization measurements of the luminous blue variable HR Carinae M. Parthasarathy (国立天文台、IIA, India)、S.K.Jain、H.C.Bhatt (IIA, India)
10:30	N27b	Second-order rotational effects on the r-mode oscillations 細沼正靖、小島康史 (広島大理)	N39c The UV(IUE) spectrum of the planetary nebula PC 11(HD 149427) M.Parthasarathy (国立天文台、IIA, India)、P. García-Lario (ISO Data Centre, Spain)、S.R. Pottasch (Kapteyn Astronomical Institute, The Netherlands)、D.de Martino (Osservatorio Astronomico di Capodimonte, Italy)、R.Surendiranath (IIA, India)
	N28b	Nova V1494 Aql の偏光分光観測 川端弘治 (国立天文台)、秋田谷洋、池田優二、磯貝瑞希、中山 覚、関 宗蔵 (東北大理)、近藤正宏、中村泰久 (福島大教育)、軽部智一、岡崎 彰 (群馬大教育)、平田龍幸 (京大理)、松村雅文 (香川大教育)	N40c V1494 Aql (Nova Aql 1999 No. 2) の多色測光観測 鳴沢真也、時政典孝 (西はりま天文台)、Fredy Doncel (National Univ. of Asuncion)、石田俊人 (西はりま天文台)、佐伯圭一、重島裕也、内藤博之、山岡均 (九州大)、赤澤秀彦、大倉信雄、清田清一郎 (JAOA)
	N29b	超新星の位置情報と母銀河中心からの offset — 超新星 1999et の例 山岡 均 (九大理)、山本道成 (綾部市天文館)	N41c Explosive Nucleosynthesis in Pair-Instability Supernovae 中津留純子、中村敬喜、梅田秀之、野本憲一 (東大理)
	N30b	ガンマ線バーストの光度曲線を Precessing Jet で説明できるか？ 戸谷友則 (国立天文台)、Simon F. Portegies Zwart (Boston Univ.)	N42c 超新星爆発時の r 過程元素合成におけるニュートリノの働き 大概かおり、和南城伸也、梶野敏貴 (国立天文台)
10:45	N31a	重力場中でのニュートリノ対消滅によるエネルギー生成 浅野勝晃 (阪大理)、福山武志 (立命館大理工)	N43c II 型超新星爆発における軽元素合成 II. 爆発直前の元素組成の影響 吉田 敬、中澤 清、榎森啓元 (東工大地惑)
11:00	N32a	U Scorpii: Ia 型超新星爆発直前の星か？ II. 静穏期の光度曲線と距離 蜂巢 泉 (東大総合)、加藤万里子 (慶応大)、加藤太一、松本 桂 (京大理)、野本憲一 (東大理)	N44c Rotating Configurations of Relativistic Magnetized Stars 金野幸吉、小島康史 (広島大理)
11:15	N33a	爆縮する鉄コアでの渦不安定:超新星爆発直前でのゆらぎの成長 花輪知幸 (名大理)、松本倫明 (法政大人間環境)	N45c PSRB1823-13 と PSRB0656+14 の ASCA による観測 桜井郁也、河合誠之、根来 均 (理研)、鳥居研一 (NASDA)、George Pavlov (Penn State)、斎藤芳隆 (宇宙研)、柴田晋平 (山形大)、ほか
11:30	N34a	極超新星の非球対称爆発における元素合成と観測との比較 前田啓一、中村敬喜、野本憲一 (東大理)、蜂巢 泉 (東大教養)	N46c 中性子星への超臨界降着における r-mode 不安定性の影響について 吉田慎一郎、江里口良治 (東大総合文化)
			N47c Gravitational wave from a spinning particle scattered by a relativistic star: Axial mode case 富永一宏、西條統之、前田恵一 (早大理工)



## P. 星形成 (A会場)

4/4(火)		4/5(水)	
14:30	<b>P01a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による中間赤外暗黒星雲 G79.34+0.33, G79.34+0.38 周辺の $\text{Cl}^{\text{3}P_2-^3P_1}$ 輝線観測 岡朋治(東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	10:45	<b>P14b</b> 原始星の構造とエネルギー・スペクトル分布の関係について 中里 剛、中本泰史、菊地信弘(筑波大物理)
14:45	<b>P02a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による Maddalena cloud の $\text{Cl}$ 広域観測 酒井 剛(東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ		<b>P15b</b> 野辺山ミリ波干渉計を用いた原始惑星系円盤 HL Tau の観測 横川創造(東大理)、北村良実、百瀬宗武、川辺良平
15:00	<b>P03a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による Orion B 分子雲の $\text{Cl}$ 広域観測 池田正史(東大理)、他、富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ		<b>P16b</b> 原始惑星系円盤へのガス降着衝撃波 飯田 彰(筑波大学計算物理学研究センター/神戸大自然科学)、中本泰史、須佐 元(筑波大学計算物理学研究センター)、中川義次(神戸大理)
15:15	<b>P04a</b> NGC1333 の $\text{Cl}(\text{3}P_1-^3P_0)$ 及び $\text{CO}(J=3-2)$ による広域観測 岩田充弘(東大理)、他、富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ		<b>P17b</b> 原始星周円盤中の粘性加熱の効果 野村英子(京大理)
15:30	<b>P05a</b> カメレオン座分子雲コアの $\text{H}^{13}\text{CO}^+(J=1-0)$ 観測 水野 亮、原 淳、早川貴敬、大西利和、福井康雄(名大理)	11:00	<b>P18a</b> Multiple Non-axially Symmetric $\text{H}_2$ Shocks in S233 and IRAS20050 Yongqiang Yao (OAO, NAOJ)、Miki Ishii, Daisuke Kato, Tetsuya Nagata, Shuji Sato (Nagoya Univ.)
15:45	<b>P06a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による $\rho$ Oph 領域における $\text{Cl}$ の広域観測 亀谷和久(東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ	11:15	<b>P19a</b> Tタウ型星 RU Lupi のジェット及びディスクギャップ 高見道弘(Univ. of Hertfordshire)、Jeremy Bailey (AAO)、Tim Gledhill、Jim Hough (Univ. of Hertfordshire)
16:00	<b>P07a</b> Fragmentation in the $\rho$ Ophiuchi Cluster Forming Region: $\text{H}^{13}\text{CO}^+$ Observations 梅本智文(国立天文台)、鎌崎 剛、砂田和良(国立天文台野辺山)、北村良実(宇宙研)、長谷川哲夫(東大理)	11:30	<b>P20a</b> A Micro Jet: A Protostar's Cry at Birth 古星 玲(総研大/NRO)、北村良実(ISAS)、H. Alwyn Wootten、Mark J. Claussen (NRAO)、齋藤正雄(CfA)、Kevin B. Marvel (AAS)、川辺良平(NRO)
16:15	<b>P08a</b> 分子雲の質量関数と星の初期質量関数 中野武宣(京大理:非常勤)	11:45	<b>P21a</b> チャンドラ衛星による OMC 2-3 領域の X線観測 Y. Tsuboi (Penn State)、J. Bally (CASA)、K. Hamaguchi、K. Koyama (Kyoto)、Y. Sekimoto、K. Tatematsu (NAO)
4/5(水)		12:00	<b>P22b</b> 「あすか」衛星による IRAS 03282+3035 の観測 山内茂雄(岩手大人社)、小山勝二(京大理)
09:30	<b>P09a</b> (Ultra) compact HII 領域における中間赤外域微細構造輝線強度比 岡本美子、片坐宏一(東大理)、山下卓也、宮田隆志(国立天文台)、田窪信也、酒向重行(東大理)		<b>P23b</b> S106 の近赤外撮像観測 大朝由美子(東大理)、中島 康(名大理)、田村元秀、伊藤洋一(国立天文台)、舞原俊憲、岩室史英、本原顕太郎他 CISCO チーム(京大理)、すばる望遠鏡チーム(国立天文台)
09:45	<b>P10a</b> MICS によるオリオン BN/KL 領域の 10 $\mu\text{m}$ 帯分光観測 高橋理恵(東大理)、山下卓也、宮田隆志(国立天文台ハワイ)、片坐宏一(東大天文センター)、岡本美子(東大理)		
10:00	<b>P11a</b> 磁場の両極性散逸を介した小クランプ形成に関する考察 釜谷秀幸(京大理)		
10:15	<b>P12a</b> 重力収縮する分子雲コアにおけるファーストコア形成と分裂 松本倫明(法政大)、花輪知幸(名大理)		
10:30	<b>P13a</b> 動的降着するディスク状星周エンベロープの形成とその進化 中村文隆、一ノ関拓朗、佐藤智美(新潟大教育人間科学)、菊池信弘(筑波大計算物理)、富阪幸治(国立天文台)		
			ポスターのみ
			<b>P24c</b> オリオン ネビュラ クラスター のチャンドラ X線観測 Y. Tsuboi、P. Broos、E. D. Feigelson、G. Garmire (Penn State)、L. Hillenbrand (Caltech)、S. H. Pravdo (JPL)、L. K. Townsley (Penn State)

Q. 星間現象 (F会場)

4/3(月)		4/3(月)	
10:00	<p><b>Q01a</b> 「なんてん」による<sup>12</sup>CO (J=1-0) 銀河面サーベイ (330° &lt; L &lt; 342°) 浅山信一郎、齋藤弘雄、松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	11:45	<p><b>Q08b</b> Orion 分子雲コアの 500GHz 帯ラインサーベアの解析 荒木光典 (福井大学)、大石雅寿 (国立天文台)、G. J. White、N. S. Hiffinbottom (University of London)、J. S. Greaves (University Park)</p>
10:15	<p><b>Q02a</b> ケンタウルス座領域における "high-z" CO 分子雲の探査 松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>		<p><b>Q09b</b> 星形成領域における HDCS 分子輝線の観測 広田朋也、箕輪浩嗣、山本 智 (東大理)</p>
10:30	<p><b>Q03a</b> オリオン座-エリダヌス座領域の特異な高銀緯分子雲 吉川奈緒、大西利和 (名大理)、河村晶子 (東大理)、米倉覚則 (大阪府立大理)、水野亮、福井康雄 (名大理)</p>		<p><b>Q10b</b> 水素分子とアンモニアの異常なオルソ/パラ比の起源 高橋順子 (国立天文台)</p>
10:45	<p><b>Q04a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による暗黒星雲 L134 の C I 広域観測 伊藤哲也 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p>		<p><b>Q11b</b> 急冷炭素質物質から生成するダイヤモンドの成長 木村誠二、堀内千尋 (立命館大理工)、和田節子 (電通大)</p>
11:00	<p><b>Q05a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による Orion KL 領域の Cl(<sup>2</sup>P<sub>2</sub>-<sup>3</sup>P<sub>1</sub>; 809 GHz) 輝線の観測 山本 智、前澤裕之、池田正史、伊藤哲也、岡 朋治、斎藤 岳、岩田充弘、亀谷和久、酒井 剛 (東大理)、関本裕太郎、立松健一、有川裕二、麻生善之、野口 卓 (国立天文台野辺山)、史生才 (紫金山天文台)、斎藤修二 (福井大)、藤原英夫 (東大工)、大石雅寿 (国立天文台)、尾関博之、稲谷順司 (NASDA)</p>	14:00	<p><b>Q12a</b> NGC7538(N) - IRS 1, 2 and IRS 3 周辺の巨大ダストクラウド (第 2 報) 赤羽賢司 (野辺山宇宙電波観測所)、杉谷光司 (名古屋市立大)、松尾 宏、久野成夫 (国立天文台野辺山)</p>
11:15	<p><b>Q06a</b> 富士山頂サブミリ波望遠鏡による牡牛座暗黒星雲の Hiles' Cloud 2 周辺領域の C I 広域観測 前澤裕之 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p>	14:15	<p><b>Q13a</b> - COMICS First Results (1) - すばる望遠鏡 + COMICS による Red Rectangle の N バンド分光/撮像観測 宮田隆志 (国立天文台)、片ざ宏一、岡本美子、酒向重行、田窪信也 (東大理天文)、山下卓也、中村京子 (国立天文台)、すばる望遠鏡チーム</p>
11:30	<p><b>Q07a</b> 重水素化合物の星間化学: 重水素濃縮と暗黒星雲コアの進化年齢 斎藤修二 (福井大、分子研)、相川祐理、E. Herbst (オハイオ州立大)、大石雅寿 (国立天文台)、広田朋也、山本 智 (東大理)、海部宣男 (国立天文台)</p>	14:30	<p><b>Q14a</b> A Broad 22 μm Emission Feature in the Carina Nebula Hill Region 尾中 敬、Kin-Wing Chan (東大理)</p>
		14:45	<p><b>Q15a</b> 極低温における結晶性シリケートの赤外吸収 茅原弘毅 (阪大理京都薬大)、小池千代枝 (京都薬大)、土山 明 (阪大理)、芝井 広 (名大理)、中川貴雄 (宇宙研)</p>
		15:00	<p><b>Q16a</b> "なんてん" によるガム星雲に付随する分子雲の観測 II 山口伸行 (名大理)、水野 亮 (名大理)、小川英夫 (大阪府大)、福井康雄 (名大理)</p>
		15:15	<p><b>Q17a</b> 「なんてん」による Vela SNR の<sup>12</sup>CO (J=1-0) 詳細観測 森口義明、山口伸行、大西利和、水野亮、福井康雄 (名大理)</p>

4/3(月) 15:30	<b>Q18a</b> 「なんてん」による LMC の $^{12}\text{CO}$ 高感度観測: 4. 超新星残骸と分子雲 水野範和、山口玲子、齋藤弘雄、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	4/4(火) 10:45 <b>Q28b</b> 分子雲の形成過程 IV - 微小分子雲形成の2次元シミュレーション 小山 洋 (国立天文台、東大理)、犬塚修一郎 (国立天文台)
15:45	<b>Q19a</b> 大マゼラン雲内の双子超新星残骸 DEM L316 の ASCA による観測 西内満美子、横川 淳、小山勝二 (京都大学)、John P. Hughes (Rutgers University)	ポスターのみ <b>Q29c</b> 輻射流体力学の線形波動の伝播の解析 森田一彦 (北海道薬科大)、兼古 昇 (名大理)、外山清高 (北海道情報大)、佐藤哲也 (千歳北陽高校)
4/4(火) 09:30	<b>Q20a</b> 超新星残骸 Cas A における $^{44}\text{Ti}$ : 重力崩壊型超新星爆発モデルのテストとして 望月優子 (理研)	<b>Q30c</b> カメレオン座分子雲の一酸化炭素分子量と減光量 早川貴敬 (名大理)、L. Cambrésy (IPAC)、水野亮、福井康雄 (名大理)
09:45	<b>Q21a</b> ASCA による RCW 86 の詳細観測 馬場 彩、小山勝二 (京大物理)、富田洋 (NASDA)	<b>Q31c</b> IRTS/FILM による高銀緯[CII]輝線放射の観測 巻内慎一郎、中川貴雄、松原英雄 (宇宙研)、芝井 広 (名大理)、奥村健市 (通信総研)、他 IRTS チーム
10:00	<b>Q22a</b> 新超新星残骸 AX J1747.0-2828 の ASCA による観測 河野 誠、村上弘志、坂野正明、小山勝二 (京大理)	
10:15	<b>Q23a</b> Orion-KL 水メーザーバーストの偏波プロフィールの時間変化 堀内真司 (国立天文台 VSOP 室、科学技術振興事業団)、亀谷 收 (国立天文台水沢)	
10:30	<b>Q24b</b> J-Net による W 5 1 水メーザーモニター観測: W51North について 渡辺輝彦 (鹿児島大学)、今井 裕 (国立天文台水沢)、面高俊宏、西尾正則 (鹿児島大学)、笹尾哲夫、亀谷 收 (国立天文台水沢)、朝木義晴 (宇宙科学研究所)、中島潤一 (通信総合研究所鹿島)、宮地竹史 (国立天文台野辺山)	
	<b>Q25b</b> ASCA による新 X 線反射星雲候補 Sgr C の観測と銀河中心の活動性 村上弘志、坂野正明、辻本匡弘、小山勝二 (京大物理)、前田良知 (Penn State 大)	
	<b>Q26b</b> 「あすか」による超新星残骸 3C400.2 の観測 吉田久美、常深 博、宮田恵美 (阪大理)	
	<b>Q27b</b> 超新星残骸 $\gamma$ Cygni からの非熱的 X 線放射の検出 内山泰伸、高橋忠幸 (宇宙研)	

## R. 銀河 (E会場)

4/4(火)		4/4(火)	
14:30	<p><b>R01a</b> 棒状銀河バルジにおける星の流れの検出 出口修至 (国天野辺山)、泉浦秀行 (国天岡山)、亀谷 取 (国天水沢)、浮田信治 (国天野辺山)、中田好一、藤井高宏、大坪貴文 (東大理)、中島淳一 (総研大)</p>	15:45	<p><b>R11b</b> Photometric Redshift に基づく HDF 銀河の光度関数および星形成率の考察 古澤久徳、嶋作一大 (東大理)</p>
14:45	<p><b>R02a</b> X線衛星「あすか」によるマゼラン雲サーベイ計画: SMC 編 横川 淳、今西健介、辻本匡弘、西内満美子、小山勝二 (京大理)</p>	16:00	<p><b>R12a</b> Evolution of dusty starburst galaxies. IV. Selective extinction model 塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治 (国立天文台)</p>
15:00	<p><b>R03a</b> Evolution of dusty starburst galaxies III. ハッブル系列の起源とサブミリ波源 戸次賢治 (国立天文台)、塩谷泰広 (東北大理)</p>	16:15	<p><b>R13a</b> Cosmic Star Formation Rate at <math>z \sim 3</math> - Metallicity Effect 平下博之、井上昭雄、釜谷秀幸 (京大理)</p>
15:15	<p><b>R04b</b> Cosmic Infrared Background Requires Rapid Evolution in Cosmic Star Formation History 石井貴子、竹内 努、平下博之、吉川耕司 (京大理)</p> <p><b>R05b</b> Evolution of Far-Infrared - to - Optical Luminosity Ratio and Its Implication to the Cosmic Star Formation 竹内 努、平下博之、石井貴子、吉川耕司 (京大理)</p> <p><b>R06b</b> Testing Intermittency of the Galactic Star Formation History along with the Infall Model 竹内 努、平下博之 (京大理)</p> <p><b>R07b</b> 早期型渦巻銀河の星形成活動について 白井 正、齋藤 衛 (京大宇宙物理)、富田晃彦 (和歌山大教育)</p>	4/5(水)	<p><b>R14a</b> 銀河の赤外光度から星形成率への変換式 井上昭雄、平下博之、釜谷秀幸 (京大理宇宙物理)</p>
15:30	<p><b>R08b</b> 銀河中心領域での星形成とガス供給 II 福田浩之、羽部朝男、福田浩之 (北大理)、和田桂一 (国立天文台)</p> <p><b>R09b</b> gas rich dwarf galaxies における分子雲の進化(II) 徳丸貴嗣、羽部朝男、福田浩之 (北大理)、和田桂一 (国立天文台)</p> <p><b>R10b</b> ブルー・コンパクト矮小銀河のエンベロープ中での雲形成 富田晃彦 (和歌山大教育)、齋藤 衛、釜谷秀幸 (京大理)</p>	09:30	<p><b>R15a</b> 赤方偏移率 - 後退速度関係の再検討 (その2 赤方偏移率の年間変動幅) 阿武靖彦</p>
		09:45	<p><b>R16a</b> すばるディープフィールドI-観測と結果 岩室史英、舞原俊憲、本原顕太郎、寺田 宏、後藤美和、岩井淳一、田辺裕久、田口智之、秦 隆志 (京大理)、大屋 真 (通総研)、吉井 譲、戸谷友則 (国立天文台)、すばる望遠鏡チーム</p>
		10:00	<p><b>R17a</b> すばるディープフィールドII-カウントと背景放射の理論モデルとの比較による宇宙論・銀河形成論への示唆 戸谷友則 (国立天文台)、吉井 譲 (東大理)、岩室史英、舞原俊憲、本原顕太郎、寺田 宏、後藤美和、岩井淳一、田辺裕久、田口智之、秦 隆志 (京大理)、大屋 真 (通総研)、すばる望遠鏡チーム</p>
		10:15	<p><b>R18a</b> Constraining the Location of Microlensing Objects by Finite Source Effect in EAGLE events 住 貴宏 (名大STE研)、本間希樹 (国立天文台)</p>
		10:30	<p><b>R19a</b> J-Net による VERA 用参照電波源探査 本間希樹、電波源サーベイチーム (国立天文台、通総研鹿島、鹿児島大、九州東海大他)</p>

4/5(水)		4/5(水)	
10:45	<b>R20a</b> MAGNUM project (1). 遠方銀河距離決定の新技术 吉井 譲 (東大理)、小林行泰 (国立天文台/総研大)、峰崎岳夫 (東大理)、塩谷圭吾 (総研大)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理/国立天文台)、青木 勉 (東大理)、B. A. Peterson (ANU)	12:00	<b>R28b</b> ロックマンホールの遠赤外線輝度分布の空間構造解析 III. 銀河カウントに対する制限 松原英雄 (宇宙研)、川良公明 (東大理天文センター)、谷口義明 (東北大理)、佐藤康則、奥田治之、松本敏雄 (宇宙研)、祖父江義明 (東大理天文センター)、若松謙一 (岐阜大工)
11:00	<b>R21a</b> MAGNUM project (2). 活動銀河核の可視赤外線変光遅延時間と絶対等級の相関 峰崎岳夫、吉井 譲 (東大理)、小林行泰 (国立天文台/総研大)、塩谷圭吾 (総研大)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理/国立天文台)、青木勉 (東大理)、B.A.Peterson (ANU)		<b>R29b</b> NFW Galaxy Profile as a Cosmological Tool 浅野勝晃 (阪大理)
11:15	<b>R22a</b> MAGNUM project (3). ハレアカラ専用望遠鏡設置の進捗状況 小林行泰 (国立天文台/総研大)、吉井譲、峰崎岳夫、青木 勉 (東大理)、塩谷圭吾 (総研大)、菅沼正洋、富田浩行 (国立天文台/東大理)、B.A.Peterson (ANU)		ポスターのみ <b>R30c</b> NGC4051 の OASIS 観測 兼古 昇 (北大理)、外山清高 (北海道情報大)、佐藤哲也 (千歳北陽高)、青木賢太郎、奥村真一郎 (国立天文台)、前原英夫 (国立天文台岡山)
11:30	<b>R23a</b> MAGNUM project (4). 近赤外域における活動銀河核の変光 塩谷圭吾 (総研大)、小林行泰 (国立天文台)、吉井 譲 (東大天文センター)、峰崎岳夫 (東大天文センター木曾観測所)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理)		<b>R31c</b> 銀河系中心領域のチャンドラ X線観測 F. Baganoff (MIT)、L. Angelini (GSFC)、M. Bautz (MIT)、N. Brandt (PSU)、W. Cui、J. Doty (MIT)、E. Feigelson、G. Garmire (PSU)、T. Kaliman (GSFC)、Y. Maeda (PSU)、M. Morris (UCLA)、K. Nishikida (PSU)、S. Praudo (JPL)、G. Ricker (MIT)、L. Townsley (PSU)
11:45	<b>R24b</b> 系外銀河 IC 342 でのアンモニアの観測 高野秀路、中井直正 (国立天文台野辺山)、川口建太郎 (岡山大理)、鷹野敏明 (千葉大自然)		<b>R32c</b> 銀河中心部の質量光度比の検証及び暗黒物質の分布 高宮 務、祖父江義明 (東大理天文センター)
	<b>R25b</b> 我々の銀河のスパイラルアームは密度波か? 矢野太平、千葉柁司、郷田直輝 (国立天文台)		<b>R33c</b> The Molecular Front in Spiral Galaxies: The Formation of Molecular Spiral Arms 日高 真 (東大理)、祖父江義明 (東大理)、本間希樹 (国立天文台 VERA 推進室)
	<b>R26b</b> CO Tully-Fisher 関係を用いた中間赤方偏移での Hubble 定数の決定 筒井芳典、祖父江義明 (東大理)、本間希樹 (国立天文台)、市川隆 (東北大理)、若松謙一 (岐阜大工)		<b>R34c</b> Limit-Cycle Scenario of Star Formation History in Spiral Galaxies 釜谷秀幸、平下博之 (京大理)
	<b>R27b</b> 木曾シュミット距離指標銀河カタログ 幸田 仁、祖父江義明、本間希樹、筒井芳典、高宮 務、日高 真 (東大センター)、富田晃彦 (和歌山大)、伊藤信成 (木曾観測所)		

## S. 活動銀河核 (A 会場)

4/3(月)		4/3(月)	
10:00	S01a	14:45	S12b
	狭輝線セIFAートI型銀河のスリム円盤モデル 嶺重 慎、川口俊宏 (京大理)、竹内 充 (大教大)、林田 清 (阪大理)		ブラックホール近傍のFast磁気音波 阿部純也 (茨城大理工)
10:15	S02a		S13b
	Narrow-Line Seyfert 1 銀河の星形成活動 川口俊宏 (京大理)、青木賢太郎 (科学技術振興事業団/国立天文台)		活動銀河中心核の大きさー Interpretation of Observed Quasar Microlensing ー 米原厚憲、嶺重 慎 (京大理)、E.L.Turner (Princeton Univ.)
10:30	S03a		S14b
	The High-Ionization Nuclear Emission-Line Region of Seyfert Galaxies 長尾 透、谷口義明、村山 卓 (東北大理)		AGN周囲のRadiatively-Supported Gas Wallの内部構造 大須賀健 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)
10:45	S04a		S15b
	AGN ジェットにおけるヘリカル構造 II 中村雅徳、内田 豊、宮腰剛広、廣瀬重信 (東京理科大)		M 8 1 の低光度 AGN のミリ波分子輝線・連続波観測 坂本 和 (NRO)、福田浩之 (北大理)、和田桂一 (国立天文台)、羽部朝男 (北大理)
11:00	S05a	15:00	S16b
	VSOP による CSS 電波源 3C 380 の観測結果 亀野誠二、沈 志強、井上 允、藤沢健太 (国立天文台)、輪島清昭 (茨城大)		VSOP Imaging of a High Brightness Temperature Quasar PKS 1921-293 Z.-Q. Shen, S. Kamenno, M. Inoue (NAOJ), P. G. Edwards (ISAS) et al.
11:15	S06a		S17b
	アンドロメダ星雲中心部における超巨大ブラックホール群の発見 大家 寛 (福井工業大工学)、飯島雅英 (東北大理)		銀河団中の電波銀河 PKS B2356-611 のX線観測 田代 信、深沢泰司、牧島一夫 (東京大理)
11:30	S07a	ポスターのみ	
	「あすか」による BL Lac 天体 OJ287 の観測 磯部直樹、杉保昌彦、田代 信、牧島一夫 (東大理)	S18c	How do we see the nuclear region of narrow-line Seyfert 1 galaxies? Takashi Murayama, Tohru Nagao, Yoshiaki Taniguchi (Tohoku University)
11:45	S08a	S19c	A Model for X-ray Variability of Narrow-Line Seyfert 1 竹内 充 (大阪教育大教育)
	The Lockmann Field における AGN の長期時間変動 江副祐一郎、伊予本直子、牧島一夫 (東大理)	S20c	高帯域 VLBI を用いた HIGH-Z QSO のサーベイ 木村守孝 (東大理)、今井昌文 (総研大)、中島潤一 (通総研鹿島)
14:00	S09a		
	Narrow Line Seyfert 1: X線時間変動とX線スペクトルによる中心ブラックホールの質量推定 林田 清、森 浩二 (阪大理)		
14:15	S10a		
	多重像をもつブレーザー PKS1830-211 のX線観測 大島 泰、満田和久、太田直美 (宇宙研)、関本裕太郎 (天文台)、服部 誠 (東北大)		
14:30	S11a		
	SDSS の Commissioning Data における重力レンズ候補の探索 稲田直久 (東大宇宙線研究所)		

## T. 銀河団 (C会場)

4/3(月)	4/3(月)
10:00 <b>T01a</b> 銀河団に対する Sunyaev-Zel'dovich 効果の相対論的補正 III. 偏極効果 野澤 智 (城西女子短大)、伊藤直紀 (上智大理工)、神山泰治 (富士総研)	<b>T11b</b> A candidate of supercluster at $z \sim 0.35$ in the area of RXJ0110.1+3211 長谷川 隆 (県立ぐんま天文台)、中平勝子 (阪大/名大理)、秋元文江、鎌田祐一、古沢彰浩 (名大理)、田中 巻 (東北大理)
10:15 <b>T02a</b> Sunyaev - Zel'dovich 効果の数値計算結果に対する解析的近似式 川名洋平、伊藤直紀 (上智大理工)、野沢 智 (城西女子短大)、神山泰治 (富士総研)	<b>T12b</b> APO TDI Imaging Survey. II: A Supercluster at $z \sim 1.1$ and Foreground Objects 田中 巻、山田 亨 (東北大理)、須藤靖 (東大理)、Edwin Turner (Princeton Univ.)、服部誠 (東北大理)
10:30 <b>T03a</b> コンプトン散乱された鉄輝線で見える銀河間ガス 茂山俊和 (東大理)、鶴 剛 (京大理)	<b>T13b</b> 「あすか」衛星による「おとめ座」銀河団の広域マッピング観測 柴田 亮 (宇宙研)、大橋隆哉、山崎典子、松下恭子 (都立大理)、他 Virgo Project チーム
10:45 <b>T04a</b> A numerical study of cosmic shear Takashi Hamana, Stephane Colombi, Yannick Mellier (Institut d'Astrophysique de Paris)	14:30 <b>T14b</b> The Variation of Gas Mass Distribution in Galaxy Clusters: Effects of Preheating and Shocks 藤田 裕、高原文郎 (阪大理)
11:00 <b>T05a</b> 銀河団内銀河の力学的進化 泉水朋寛 (東大理)、船渡陽子 (東大総合文化)、牧野淳一郎 (東大理)	ポスターのみ
11:15 <b>T06a</b> 銀河団内におけるコモンハローの成長速度について 船渡陽子 (東大総文)、泉水朋寛 (東大理)、牧野淳一郎 (東大理)	<b>T15c</b> ヒクソン・コンパクト銀河群渦状銀河の動力学的研究 西浦慎悟 (東北大理)、島田雅史 (PENTAX)、大山陽一 (国立天文台三鷹)、村山卓、谷口義明 (東北大理)
11:30 <b>T07a</b> 「あすか」による、Fornax 銀河団からのハードX線放射の観測 中澤知洋、深沢泰司、磯部直樹、牧島一夫 (東大理)	<b>T16c</b> あすか衛星による $z=1.2$ の遠方銀河団 3C324 の観測 太田直美、満田和久 (宇宙研)、服部誠 (東北大理)、三原建弘、野上杏子 (理研)
11:45 <b>T08a</b> かみのけ座銀河団の矮小銀河: 形状・色・金属量の半径依存性 小宮山 裕、岡村定矩 (東大理)、八木雅文、柏川伸成 (国立天文台)、関口真木 (東大宇宙線研)、嶋作一大、土居 守 (東大理)、安田直樹 (国立天文台)、川崎 渉 (東大理)、家 正則 (国立天文台)、B. Mobasher (Imperial College)、D. Carter (LJMU)、T. J. Bridges (AAO)、B. Poggianti (Padova)	<b>T17c</b> 銀河群のX線光度に対する超新星爆発による加熱の効果 杉之原立史 (東大理)
14:00 <b>T09a</b> SDSS commissioning data における color cut による銀河団検出 後藤友嗣 (東大理)	
14:15 <b>T10b</b> ファブリペロ分光撮像器による銀河団 Abell2256 中の輝線銀河探査 田尻愉香、服部 堯、菅井 肇、他京都3Dチーム (京大理)	

U. 宇宙論 (F会場)

<p>4/5(水) 09:30</p> <p>09:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p> <p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p>	<p><b>U01a</b> 回転する重力レンズは見えるのか? 浅田秀樹、葛西真寿 (弘前大理工)</p> <p><b>U02a</b> ビッグバン元素合成時のリチウム組成の精密決定と宇宙のバリオン密度 鈴木 建、吉井 譲 (東大理)、Berris, T.C. (ミシガン州立大)</p> <p><b>U03a</b> Sunyaev-Zel'dovich 効果のゆらぎ 北山 哲 (都立大理)、小松英一郎 (プリンストン大)</p> <p><b>U04a</b> Tsallis 統計力学の銀河分布への適用 中道晶香 (県立ぐんま天文台)、城市泉 (帝京大理工)、井口 修、森川雅博 (お茶大理)</p> <p><b>U05a</b> 1次元自己重力モデルにおける相転移現象とフラクタル 曾田康秀、井口 修、森川雅博 (お茶大理)、立川崇之 (早稲田大理工)</p> <p><b>U06a</b> ダークマターハローの構造 福重俊幸 (東大総合文化)、牧野淳一郎 (東大理)</p> <p><b>U07a</b> Stochastic Biasing From the Formation Epoch Distribution of Dark Halos 樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p> <p><b>U08a</b> Second-Order Effects of Smoothed Velocity Fields in N-body Simulations 瀬戸直樹 (京大理)</p> <p><b>U09b</b> 停留時期をともなう振動スカラー場モデルを取り入れた宇宙大規模構造のN体シミュレーション 矢部 剛、松下英子、小宮 全、山本直考、川端 潔 (東京理科大)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p><b>U12c</b> Scaling analysis of galaxy distribution in the LCRS data 黒川知美 (お茶大)、森川雅博 (お茶大理)、毛利英明 (気象研究所)</p> <p><b>U13c</b> Primordial Fractal Density Perturbation and Structure Formation of the Universe: 1-D collisionless sheet model 立川崇之、前田恵一 (早大理工)</p> <p><b>U14c</b> Particle production in the oscillating inflation model 辻川信二 (早大理工)</p>
.....		
ポスターのみ		
	<p><b>U10c</b> Weak Lensing Effect on Two-point Correlations of Hotspots in CMB 高田昌広 (東北大理)</p> <p><b>U11c</b> 銀河の赤方偏移サーベイから再構築される重力レンズ歪曲角 杉之原真紀 (国立天文台)、杉之原立史 (東大理)</p>	



## V. 地上観測機器 (B会場)

4/4(火) 09:30	<b>V01a</b> すばる望遠鏡プロジェクト総合報告 海部宣男、他ハワイ観測所、すばるプロジェクトチーム	4/4(火) 11:45	<b>V10b</b> 美星天文台 101cm 望遠鏡 分光観測用 オートガイドソフトの開発 川端哲也 (美星天文台)、木下一男 (星の広場)
09:45	<b>V02a</b> First Light of Subaru IRCS 小林尚人、Mark Weber (国立天文台ハワイ)、寺田 宏、後藤美和 (京大理)、Alan Tokunaga (ハワイ大学天文学研究所)、ハワイ大学 IRCS チーム、すばるチーム		<b>V11b</b> 中間赤外線高分散分光器(IRHS)プロトタイプ の製作 平原靖大、小林英臣 (名大理地球惑星)、増田忠志 (名大理装置開発室)、海老塚昇 (通総研)、川口建太郎 (岡山大理化学)、上岡泰晴 (太陽東洋酸素 (株))
10:00	<b>V03a</b> すばる望遠鏡での COMICS 機能試験観測 片坐宏一、岡本美子、田窪信也、酒向重行、尾中 敬 (東大理)、宮田隆志、中村京子、山下卓也 (国立天文台)、すばる望遠鏡チーム		<b>V12b</b> すばる望遠鏡観測装置用各種グリズムおよび Immersion Grating の開発 海老塚 昇 (通総研)、森田晋也 (東大工)、山形 豊、大森 整 (理研)、渡辺誠、平原靖大、小林英臣 (名大理)、川口建太郎 (岡山大理)、若木守明 (東海大工)、大山陽一、川端弘治、佐々木敏由紀、西村徹郎、家 正則 (国立天文台)
10:15	<b>V04a</b> VTOS による試験観測 堀川裕文、馬場直志 (北大工)、三浦則明 (北見工大)、乗本祐憲、大坪政司、西村徹郎 (NAO)		<b>V13b</b> Suprime-Cam における大型 CCD の高精度 配置法の開発 仲田史明 (東大理)、宮崎 聡 (国立天文台)、木村仁彦 (東大宇宙線研)、岡田則夫 (国立天文台)、関口真木 (東大宇宙線研)、他 Suprime-Cam グループ
10:30	<b>V05a</b> CIAO の開発：機能試験 田村元秀、周藤浩士、伊藤洋一、臼田知史、海部宣男、林 左絵子、土井由行、中桐正夫、小俣孝司 (国立天文台)、海老塚 昇 (通信総合研究所)		
10:45	<b>V06a</b> 可視光-近赤外線 広域長域撮像分光装置 TRISPEC (UH88 観測) 中屋秀彦 (国立天文台ハワイ)、渡辺誠、禅野孝広、石井未来、岡田 誠、佐藤修二、長田哲也、平尾孝憲、河合利秀、中村洋子、佐藤利和 (名大理)、海老塚昇 (通総研)、山室智康 (ジェネシア)		
11:00	<b>V07a</b> すばる望遠鏡のトップユニット交換機構 について 沖田喜一、倉上富夫、湯谷正美、野口猛 (国立天文台)		
11:15	<b>V08a</b> 「すばる」大型真空蒸着装置による銀蒸着 実験 (その1) 倉上富夫、神澤富雄、林 左絵子、野口 猛、湯谷正美、佐々木五郎、大島紀夫、鎌田有紀子 (国立天文台)		
11:30	<b>V09a</b> $\gamma$ 線バースト即時自動観測システムの 開発 RIBOTS 浦田裕次、河合誠之、吉田篤正、根来均 (理化学研究所)、綾仁一哉、川端哲也 (美星天文台)、小坂浩三 (玉島高校)		
		14:30	<b>V14a</b> TAMA300 の現状(6) 新井宏二 (国立天文台)、他 TAMA グループ (京大基研、高工研、国立天文台、電通大、東大宇宙線研、東大新領域、東大地震研、東大理、阪大理、宮城教育大)
		14:45	<b>V15a</b> TAMA300 重力波検出器のデータ取得と 解析 神田展行 (宮城教育大)、TAMA collaboration
		15:00	<b>V16a</b> TAMA300 による合体するコンパクト連 星からの重力波探査 田越秀行、田中貴浩 (阪大理)、神田展行 (宮教大)、辰巳大輔、大橋正健 (宇宙線研)、寺田聡一 (天文台)、他 TAMA300 collaboration

V. 地上観測機器

4/4(火)		4/5(水)	
15:15	<b>V17a</b> km スケール低温重力波望遠鏡 (LCGT) 計画 黒田和明 (東大宇宙線研)、LCGT Collaboration (東大、国立天文台、KEK、その他)	10:45	<b>V26a</b> GPS を用いた単周波パルサー VLBI 観測の電離層遅延補正 関戸 衛 (通信総合研究所)、近藤哲朗、川合栄治、今江理人
15:30	<b>V18a</b> 神岡における重力波観測 (LISM 計画) I 大橋正健 (東大宇宙線研)、and the LISM collaboration	11:00	<b>V27b</b> GPS 利用の汎用超高精度時刻保持 LSI の開発 早水 勉 (せんだい宇宙館)、下代博之 (生石高原天文台)、相馬 充 (国立天文台)
15:45	<b>V19b</b> CANGAROO 7/10m 望遠鏡報告の現状報告-II (概要と新規建設報告) 河内明子 (東大宇宙線研)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、宇宙科学研、神奈川大工、国立天文台、東海大理、東工大理、東大宇宙線研、名大STE 研、大阪市大、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大)		<b>V28b</b> Martin & Pulett 型 Fourier 分光器の相互干渉計への応用 I. CMB 観測計画 服部 誠、大田 泉 (東北大理)、松尾宏 (国立天文台三鷹)、柴田行男 (東北大科学計測研究所)
	<b>V20b</b> CANGAROO7/10m 望遠鏡計画の現状報告-III (7m 望遠鏡性能評価) 梶田淳子 (東工大理)、他 CANGAROO チーム		<b>V29b</b> Martin & Pulett 型 Fourier 分光器の相互干渉計への応用 II 原理及び実験室での実証実験結果 大田 泉、服部 誠 (東北大理)、松尾宏 (国立天文台)、柴田行男 (科学計測研究所)
4/5(水)			<b>V30b</b> ASTE/LMSA prototype 用サブミリ波受信機の開発 関本裕太郎 (国立天文台)、齋藤 岳、酒井 剛 (東大理)、河野孝太郎、佐藤直久、川辺良平、野口 卓 (国立天文台)
09:30	<b>V21a</b> 90度/180度スイッチングに代わる方法 近田義広、奥村幸子、百瀬宗武 (国立天文台)		
09:45	<b>V22a</b> 200GHz 帯超伝導受信器の開発 青山紘子、水野範和 (名大理)、森平淳志 (富士通ヴェルエスアイ)、肖可成、森口義明、浅山信一郎、飯田早苗、小出直久、豊田秋一郎、山本宏昭、鈴木和司 (名大理)、小川英夫 (大阪府大)、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)	11:15	<b>V31b</b> 水沢 10 m 電波望遠鏡のビームスイッチの立ち上げと性能評価 白鳥 裕 (九州東海大工)、岩館健三郎、亀谷 收、浅利一善 (国立天文台水沢)
10:00	<b>V23a</b> インターネット VLBI 実験 木村守孝 (東大理)、中島潤一、関戸衛、小山泰弘 (通総研鹿島)		<b>V32b</b> Rainbow 干渉計高性能化について 芝塚要公 (東大理)、他野辺山 Rainbow group
10:15	<b>V24a</b> ギガビットデジタルフィルタ試作機 井口 聖 (電通大)、川口則幸 (国立天文台)、川上和幸 (沖電気/エレクトクス工業)		<b>V33b</b> 那須電波干渉計のローカル系の開発 國吉雅也、竹内 央、藤居文行、赤峰幸徳、末満大成、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二 (早大理工)、田中尚樹、大師堂経明 (早大教育)
10:30	<b>V25a</b> 空間時間 FFT プロセッサにおけるユニタリー性とビットシフト 大師堂経明、田中尚樹 (早大教育)、竹内 央、赤峰幸徳、國吉雅也、末満大成、藤居文行、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二 (早大理工)		<b>V34b</b> VERA 計画本格スタート 笹尾哲夫 (国立天文台 VERA 推進室)、VERA グループ一同

4/5(水)	<p>11:30 <b>V35b</b> VERA 2 ビーム受信機の位相安定度測定          亀谷 収、川口則幸、三好 真、本間希樹、武士俣健、宮地竹史 (国立天文台)、瀬端好一、雨谷純 (通総研)、坪井昌人 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)</p> <p><b>V36b</b> VERA 2 ビーム受信機位相較正法実験          瀬端好一、雨谷 純 (通総研)、川口則幸、亀谷 収、三好 真、本間希樹 (国立天文台)</p> <p><b>V37b</b> VERA 計画のための VLBI 電波源探査計画 II          小山友明 (東大理)、本間希樹、笹尾哲夫 (国立天文台 VERA 推進室)</p> <p><b>V38b</b> VERA 2 ビームアンテナの位相較正法          三好 真 (国立天文台 VERA 推進室)、VERA team</p> <p>11:45 <b>V39b</b> 天体構造が VERA の位置決定精度に及ぼす影響          澤田 - 佐藤聡子 (国立天文台 VERA 推進室)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p><b>V44c</b> 天頂より 5 度ゾーンの 1.4GHz 試験観測          赤峰幸徳、竹内央、藤居文行、国吉雅也、末満大成、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二 (早大理工)、田中尚樹、大師堂経明 (早大教育)</p> <p><b>V45c</b> 相対 FringeRate による初期 VERA 観測          三好 真 (国立天文台 VERA 推進室)</p> <p><b>V46c</b> ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発          松尾 宏 (国立天文台)、有吉誠一郎 (東北大理)、武田正典、野口 卓 (国立天文台野辺山)、赤堀洋道 (信州大理)</p>
	<p>ポスターのみ</p> <p><b>V40c</b> CIAO の開発: ファーストライトと性能評価          伊藤洋一、周藤浩士、田村元秀、海部宣男、林 左絵子、白田知史 (国立天文台)、海老塚昇 (通総研)、大朝由美子 (東大)</p> <p><b>V41c</b> 木曾多天体分光器計画 III          伊藤信成、田実晃人、中田好一、三戸洋之、樽沢賢一、征矢野隆夫 (東大木曾)</p> <p><b>V42c</b> 防衛大自動測光望遠鏡の開発          武田政男、山崎篤磨 (防衛大)、金子幸男 (神和光器)</p> <p><b>V43c</b> パルサーサーベイ用大型電波干渉計の両偏波円形導波管及び円形ホーンアンテナの開発          末満大成、大師堂経明、田中尚樹、竹内 央、赤峰幸徳、国吉雅也、藤居文行、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二 (早稲田大学)</p>	

W. 飛翔体観測機器 (D会場)

4/3(月)	<p>10:00 <b>W01a</b> Astro-E 衛星搭載 X線 CCD カメラ XIS: 開発の概要とファーストライト 常深 博、北本俊二、林田 清、宮田恵美、吉田久美、幸村孝由、森 浩二、片山晴善、荘保 信、大田基在 (阪大理)、小山勝二、鶴 剛、粟木久光、坂野正明、西内満美子、浜口健二、村上弘志、今西健介 (京大理)、堂谷忠靖、尾崎正伸 (宇宙研)、G. Ricker, M. Bautz, J. Doty, S. Kissel, R. Foster (MIT)</p>	4/3(月)	<p>11:45 <b>W08a</b> 国際宇宙ステーション搭載全天 X線監視装置(MAXI)搭載用 CCD カメラの開発(II) 宮田恵美、阿久津大介、夏苺権、大谷正之、常深 博 (阪大理)、鳥居研一、富田洋、上野史郎、杉崎睦、松岡 勝 (NASDA)、河合誠之、吉田篤正、三原建弘、根来 均、白崎裕治、桜井郁也 (理研)、山内 誠 (宮崎大工)、田中 勲 (明星電気/総研大)</p>
10:15	<p><b>W02a</b> ASTROE 衛星搭載 X線 CCD カメラ(XIS) の応答関数の構築(1) 片山晴善、荘保 信、幸村孝由、森 浩二、大田基在、常深 博、北本俊二、林田 清、宮田恵美 (阪大理)、小山勝二 (京大理)、G.Ricker, M.W.Bautz, R.Foster, S.Kissel (MIT)</p>	14:00	<p><b>W09a</b> X線用 C C D 検出器の性能向上 辻本匡弘、濱口健二、村上弘志、鶴 剛、粟木久光、小山勝二 (京大理)</p>
10:30	<p><b>W03a</b> ASTROE 衛星搭載 X線 CCD カメラ(XIS) の応答関数の構築(2) 今西健介、粟木久光、鶴 剛、村上弘志、坂野正明、西内満美子、浜口健二、小山勝二 (京大理)、片山晴善、荘保 信、常深 博 (阪大理)、尾崎正伸 (宇宙研)、他 XIS チーム</p>	14:15	<p><b>W10a</b> CdTe 硬 X線検出器の性能 坂本貴紀、河合誠之、吉浦健一 (理研)、窪 秀利 (東工大理)、高橋忠幸 (宇宙研)</p>
10:45	<p><b>W04a</b> ASTRO-E 衛星搭載 X線望遠鏡の地上較正試験結果とモデル関数の比較 今村晃介、石田 學、國枝秀世、本多博彦、柴田 亮、遠藤貴雄、石田淳一、日高康弘、前田真路 (宇宙研)、田原 讓、古澤彰浩、見崎一民 (名大理)、伊藤真之 (神大発達)</p>	14:30	<p><b>W11a</b> 単色偏光 X線ビームラインの開発 小池哲司、林田 清、大谷正之、常深 博、阿久津大介、橋本康明 (阪大理)</p>
11:00	<p><b>W05a</b> ASTRO-E 衛星搭載 XRS 検出器の地上較正実験による性能評価 II 古庄多恵、石崎欣尚 (都立大理)、藤本龍一、満田和久、Damian Audley (宇宙研)、Keith Gendreau, Richard Kelley (NASA/GSFC)、and XRS Team</p>	14:45	<p><b>W12b</b> ASTRO-E 衛星搭載用硬 X線検出器(HXD) の地上最終キャリブレーション(1) 渡辺 伸、内山泰伸、久保 信、谷畑千春、高橋忠幸、村上敏夫 (宇宙研)、釜江常好、牧島一夫、田代 信、深沢泰司 (東大理)、他 HXD チーム</p>
11:15	<p><b>W06a</b> Astro-E 衛星搭載フィルターホイールの現状 山崎典子、古庄多恵、石崎欣尚、大橋隆哉 (都立大理)、小川原嘉明、満田和久 (宇宙研)</p>		<p><b>W13b</b> ASTRO-E 衛星搭載用硬 X線検出器(HXD) の地上最終キャリブレーション(2) 杉保昌彦、釜江常好、牧島一夫、田代 信、深沢泰司、国分紀秀、中澤知洋、磯部直樹、松本 縁、江副祐一郎、高橋勲 (東大理)、高橋忠幸、村上敏夫、太田直美、谷畑千春、内山泰伸、米徳大輔、渡辺 伸 (宇宙研)、他 HXD チーム</p>
11:30	<p><b>W07a</b> 多層膜スーパーミラーを用いた硬 X線望遠鏡搭載気球実験 芳賀一寿、山下広順、田原 讓、田村啓輔、小賀坂康志、岡島 崇、市丸智、高橋誠司、ほか (名大理)、国枝秀世、ほか (宇宙研)</p>		<p><b>W14b</b> ASTRO-E 衛星硬 X線検出器(HXD)アンチカウンタの応答関数の構築 古徳純一、山岡和貴、寺田幸功、国分紀秀、牧島一夫、釜江常好 (東大理)、高橋忠幸、村上敏夫 (宇宙科学研究所)、他 HXD チーム</p> <p><b>W15b</b> ASTRO-E 衛星硬 X線検出器 HXD 有効面積の角度応答 松本 縁、中澤知洋、深沢泰司、田代 信、釜江常好、牧島一夫 (東大理)、高橋忠幸、村上敏夫 (宇宙研)、他 H X D チーム</p>

4/3(月) 15:00	<p><b>W16b</b> ASTRO-E 衛星内放射線環境のシミュレーション 久保 信、内山泰伸、谷畑千春、渡辺伸、高橋忠幸 (宇宙研)</p>	4/3(月) 15:30	<p><b>W24b</b> Solar-B 可視光望遠鏡 (SOT) の設計進捗状況 末松芳法、一本 潔、清水敏文、花岡庸一郎、鹿野良平、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、秋岡眞樹 (通総研)、三神 泉、齊藤秀朗 (三菱電機)、武山芸英、山室智康 (ジェネシア)、SOT 開発グループ</p>
	<p><b>W17b</b> 気球搭載用 CdTe 硬 X 線検出器の開発 小林 研 (東大理)、常田佐久、熊谷收司 (国立天文台)、柴崎清登 (国立天文台野辺山)、小杉健郎、坂尾太郎、斎藤芳隆 (宇宙科学研)</p>		<p><b>W25b</b> Solar-B 可視光望遠鏡一望遠鏡部(OTA) 構造一 永江一博、山内秀孝、仲尾次利崇、齊藤秀朗 (三菱電機)、常田佐久、末松芳法、一本 潔、清水敏文、花岡庸一郎 (国立天文台)、秋岡眞樹 (通総研)、SOT 開発グループ</p>
	<p><b>W18b</b> XMM に搭載した EPIC MOS CCD の検出効率の詳細測定 平賀純子、常深 博 (阪大理)、A. F. Abbey、A. D. Short、P. J. Bennie (Leicester Univ.)</p>		<p><b>W26b</b> Solar-B 可視光望遠鏡一主鏡の熱変形解析一 大島丈治、高田和幸、齊藤秀朗 (三菱電機)、末松芳法、一本 潔、清水敏文、花岡庸一郎、常田佐久 (国立天文台)、秋岡眞樹 (通総研)、SOT 開発グループ</p>
	<p><b>W19b</b> 国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置(MAXI)の開発 上野史郎、松岡勝、鳥居研一、杉崎睦、富田 洋、白崎裕治、小松茂則、Weimin Yuan (NASDA)、河合誠之、吉田篤正、三原建弘、根来 均、桜井郁也 (理研)、常深 博、宮田恵美 (阪大理)、山内 誠 (宮崎大工)、鎌江稔員 (大阪市立大)、田中 勲 (明星電気/総研大)</p>		<p><b>W27b</b> 温度収差を考慮した Solar-B 可視光望遠鏡のコリメータ光学系 山室智康、武山芸英 (ジェネシア)、一本 潔、末松芳法、花岡庸一郎、常田佐久 (国立天文台)、秋岡眞樹 (通総研)、齊藤秀朗 (三菱電機)、SOT 開発グループ</p>
15:15	<p><b>W20b</b> 背面照射型 CCD の X 線データ処理法の研究 川崎正寛、穴吹直久、小川道雄、尾崎正伸、堂谷忠靖、山下朗子 (宇宙研)</p>	15:45	<p><b>W28b</b> Solar-B 可視光望遠鏡の non-sequential 光線追跡 神原佳子 (ジェネシア)、一本 潔、花岡庸一郎、鹿野良平、末松芳法、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、SOT 開発グループ</p>
	<p><b>W21b</b> フォトダイオードで読み出す硬 X・<math>\gamma</math> 線検出器 高橋 勲、大西呂尚、牧島一夫、田代信、釜江常好 (東大理物理)</p>		<p><b>W29b</b> Solar-B 可視光望遠鏡の焦点面像安定化装置の開発 清水敏文、一本 潔、末松芳法、花岡庸一郎、常田佐久 (国立天文台)、高岡呂尚、松崎恵一 (宇宙研)、伊藤修、柏木康弘、三木史郎、吉田憲正、田畑真毅、小出来一秀 (三菱電機)、他可視光望遠鏡開発グループ</p>
	<p><b>W22b</b> X 線ミリ秒角 (X-mas) 望遠鏡の開発提案 北本俊二、宮田恵美、林田 清、大谷正之 (阪大理)、粟木久光、鶴 剛 (京大理)、田原 譲、山下広順、田村啓輔、小賀坂康志 (名大理)、石田学、国枝秀世、高橋忠幸、上田佳宏、堂谷忠靖 (宇宙研)、田代 信 (東大理)、伊藤真之 (神大理)、三原建弘 (理研)</p>		<p><b>W30b</b> Solar-B 可視光望遠鏡の焦点面観測装置とデータ処理 花岡庸一郎、末松芳法、一本 潔、清水敏文、常田佐久 (国立天文台)、松崎恵一、小杉健郎 (宇宙研)、秋岡眞樹 (通総研)、Lockheed Martin Solar and Astrophysics Laboratory、三菱重工業 (株)、SOT 開発グループ</p>
	<p><b>W23b</b> フィルムレンズアンテナ試作素片の特性測定 氏原秀樹 (総研大)、近田義広 (国立天文台)</p>		<p><b>W31b</b> Solar-B に使用する新複合材料のコンタミネーション評価 田村友範、原 弘久、一本 潔、常田佐久 (国立天文台)、内藤公喜 (三菱電機鎌倉製作所)、尾崎毅志 (三菱電機先端技術総合研究所)</p>

4/4(火)	<p>09:30 <b>W32a</b> 光トランスポンダーと電波源による月の運動の高精度観測 吉野泰造、国森裕生、勝尾双葉、雨谷純、細川瑞彦、近藤哲朗、小山泰弘(通信総研)、岩田隆浩(NASDA)、河野宣之(国立天文台)、Ulrich Schreiber(ミュンヘン工科大学)</p>	4/4(火)	<p>10:30 <b>W39b</b> ASTRO-F(IRIS)搭載用遠赤外線フーリエ分光器の開発 宇津野博士、川田光伸、都竹泰、芝井広(名大理)、高橋英則(科学技術振興事業団/名大理)、中川貴雄(宇宙研)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>
09:45	<p><b>W33a</b> 日印共同による気球搭載望遠鏡を用いた遠赤外線分光観測(II) 金田英宏、中川貴雄、成田正直、森本創(宇宙研)、芝井広、有村成功、伊藤 淳、田中 誠(名大理)、土井靖生(東大総文)、奥田治之(ぐんま天文台)、Ghosh, S.K., Rengarajan, T.N., Verma, R.P., Mookerjee, B., Ojha, D.K.(Tata Institute of Fundamental Research, TIFR, India)</p>	10:30	<p><b>W40b</b> ASTRO-F(IRIS)搭載遠赤外線圧縮型 Ge:Ga2次元アレイ検出器開発 廣岡伸弥、芝井 広、広野等子(名大理)、土井靖生(東大総文)、中川貴雄(宇宙研)、巻内慎一郎、岡村吉彦(東大理)、廣本宣久、藤原幹生(通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>
10:00	<p><b>W34a</b> 赤外線天文衛星 ASTRO-Fの現状について 松本敏雄(宇宙研)、ASTRO-F チーム</p>	<p>ポスターのみ</p>	
10:15	<p><b>W35b</b> 新気球赤外線望遠鏡のインド・ハイデラバードにおけるフライト結果 田中 誠、芝井 広、川田光伸、有村成功、伊藤 淳、廣岡伸弥(名大理)、土井靖生(東大総文)、成田正直、中川貴雄、金田英宏(宇宙研)、奥田治之(ぐんま天文台)、巻内慎一郎(東大理)、廣本宣久、藤原幹生(通信総研)、T.N.Rengarajan、R.P.Verma、S.K.Ghosh(TIFR)</p>	<p><b>W41c</b> 圧縮型 Ge:Ga 素子の過渡的応答特性 II</p>	
	<p><b>W36b</b> ASTRO-F(IRIS)搭載遠赤外サーベイ装置 FISの開発 芝井 広(名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>	<p>岡村吉彦、金田英宏、中川貴雄(宇宙研)、廣本宣久、藤原幹生(通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>	
	<p><b>W37b</b> ASTRO-F (IRIS)搭載用極低温電子回路の開発 日比康詞、芝井 広、平尾孝憲、渡部豊喜、永田洋久(名大理)、野田 学(名古屋市科学館)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>		
	<p><b>W38b</b> ASTRO-F(IRIS)搭載赤外カメラ IRCの開発 尾中 敬(東大理)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p>		

## X. 情報処理 (C会場)

4/5(水)		4/5(水)			
09:30	X01a	九州東海大でのP C cluster計画 白鳥 裕 (九州東海大工)、瀧口 崇、 松本欣也 (九州東海大応用情報)	10:45	X06b	天体回転プラズマシミュレータの開発 2:熱伝導モジュール 中村賢仁 (科学技術振興事業団)、松元 亮治 (千葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自 然)
09:45	X02a	自己重力多体系専用計算機 GRAPE-6 の プロセッサボード 牧野淳一郎 (東大理)、古賀勝基、川 井 敦、福重俊幸 (東大総文)、泰地真 弘人 (統数研)		X07b	電波干渉計データの "Wavelet CLEAN" ア ルゴリズムの開発 堀内真司、亀野誠二、大石雅寿 (国立 天文台)
10:00	X03a	P <sup>2</sup> M <sup>2</sup> による高精度ツリーコードの実現 川井 敦 (東大総合文化)、牧野淳一郎 (東大理)			
10:15	X04a	適合格子分割を用いた宇宙論的数値計算 コードの開発 矢作日出樹、吉井 譲 (東大理)			
10:30	X05a	天体回転プラズマシミュレータの開発3: ユーザーインターフェースの開発 殿岡英顕 (JST/千葉大)、松元亮治 (千 葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自然)			
					ポスターのみ
				X08c	多プラットフォーム対応の電波天文デー タ解析ソフトウェア・NEWSTAR(LINUX 版)の開発 西山広太 (科学技術振興事業団)、大石 雅寿 (国立天文台)
				X09c	多プラットフォーム対応電波天文デー タ解析ソフトウェア・NEWSTAR (HP-UX 版)の開発 池田美穂、西山広太 (科学技術振興事 業団)、大石雅寿 (国立天文台)、立松 健一 (国立天文台野辺山)

## Y. 天文教育・その他 (C会場)

4/3(月)		4/3(月)			
15:00	Y01a	屋外で宇宙電波を体感できる天文教育普 及システムの製作 松本欣也、大江康彦 (九州東海大応用 情報)	15:45	Y04b	盲学校との流星の共同観測 豊増伸治、三崎吉剛 (八王子盲学校)、 越塚 登 (東大)
15:15	Y02a	世界中の子どもたちと共同で行うエッジ ワース・カイパーベルト天体探し 縣 秀彦、渡部潤一、布施哲治 (国立天 文台)、木下大輔 (東京理科大)、西村 治 (長野高専)、五島正光 (巢鴨高校)、 千頭一郎 (加治木養護学校)、我崎俊一 (理研)、H. Pack (N. M. H. School)、 C. Pennypacker (U. C. Berkeley)		Y05b	立体的な実像の観察から入る「望遠鏡を 作って観る」講習会 柴田晋平、大井園子、鳥貫真樹子、高 野朋也、安平真規、我妻良一 (山形大理)
15:30	Y03a	「しし座流星群高校生観測会」2年間の総 括 鈴木文二 (三郷工業技術高校)、観測会 実行委員会		Y06b	CD-ROM KISO - Schmidt 天体写真集 の制作 畑 英利 (下諏訪社中学校)、中田好一、 青木 勉 (東大木曾観測所)
					ポスターのみ
				Y07c	インターネット天文台とその教育利用 松本直記、坪田幸政 (慶應義塾高校)、 佐藤毅彦 (東京理科大)、高橋典嗣 (明 星大)

## ジュニアセッション

B会場 (4月3日 16:00~18:00)、ポスター会場 (4月3-5日)

- |        |   |
|--------|---|
| 01     | 東京周辺に於ける光害について<br>土谷 大 (高2) 【慶応義塾高等学校】  |
| 02     | 光害—美しい星空をとりもどす—<br>朝岡 翔 (中3) 【私立摂陵中学校】  |
| 03     | 天文好きな中・高校生をとりまく環境<br>森田亮介 (高1) 【都立青梅東高等学校】、小川 宏 (高3) 【愛知県立千種高等学校】<br>内海洋輔 (中3) 【東京大学教育学部附属中・高等学校】<br>ジュニア天文研究会発足準備委員会   |
| 04     | 流星の同時写真観測<br>東郷徹宏 (高2) 【巣鴨学園高等学校】   |
| 05     | 大火球のスペクトルの時間変化<br>小澤 隆 (高2)、村岡典幸 (高2)、二宮洋介 (高2)、奈良岡寛久 (高2) 【埼玉県立越谷北高等学校】<br>井上幸子 (高3)、小川明香 (高3) 【埼玉県立三郷工業技術高等学校】  |
| 06     | 流星はどこに流れるのか —流星の出現分布をさぐる—<br>横地里美 (高1)、三田村裕美 (高1)、小川 宏 (高3)、山本雅之 (高3) 【愛知県立千種高等学校】  |
| 07     | 安価な受信機による HRO で捉えた Leonids'99 の大出現<br>岩寄佑子 (高2)、柴田恵理 (高2)、菅谷美紀 (高2)、西山美弥 (高2)、沼崎香織 (高2)、<br>藤崎貴代 (高2)、大内亜希子 (高1)、小林美歩 (高1)、林 映里子 (高1)、吉岡あゆみ (高1)、<br>殿村洋文 (顧問) 【私立星野女子高等学校】 |
| 08     | HRO による流星観測<br>内海洋輔 (中3)、安 英伸 (中3) 【東京大学教育学部附属中・高等学校】   |
| 09     | 流星塵の電子顕微鏡観察<br>渡邊眞澄 (中3)、趙 麻美 (中3)、松川愛未 (中1) 【成蹊中学校】  |
| 10     | 母彗星の塵放出のムラと流星群出現のムラの関連性<br>山北剛久 (高2)、新井祐介 (高2)、大久保達夫 (高2)、井上義之 (高2)、清水 健 (高2)、<br>渡辺直樹 (高2)、野村俊一 (高2) 【東京学芸大学教育学部附属高等学校】  |
| 11     | Asteroid (1063) Aquilegia のライトカーブ観測<br>藤原英明 (高2) 【筑波大附属駒場高等学校】、浅田はるか (高1) 【山梨県立上野原高等学校】<br>飯田一馬 (高2) 【神奈川県立大和高等学校】、角替由佳 (高2) 【私立明星高等学校女子部】                                  |
| 12     | 太陽の彩層におけるアルヴェーン波の伝播について<br>安田孝之 (高専2) 【国立米子工業高等専門学校】<br>竹内彰継 (指導教官、助教授)   |
| 13     | わし座新星 1999No.2 の測光<br>飯田 健 (高1) 【埼玉県立三郷工業技術高等学校】  |
| 14     | パソコンによる銀河衝突シュミレーション<br>小池邦昭 (高2)、佐藤大輔 (高2)、唐澤 諒 (高2) 【東京大学教育学部附属高等学校】   |
| .....  |   |
| ポスターのみ |   |
| 15     | 99年 しし座流星群アマチュア無線電波観測 (リスン法) の結果について<br>扇谷響子 (中3)、川合里奈 (高1)、伴田 玲 (高1)、宮内春香 (高1)、村尾和子 (高1)<br>【遺愛女子中学高等学校】   |
| 16     | リニア彗星 (C/1999S4) の尾の発達予想 ~私達はリニアの尾を知ッテイル!~<br>田草川勝也 (高3) 【駿台甲府高等学校】、落合絵里子 (高2) 【青山学院高等部】  |
| 17     | 白斑の RGB 測光<br>井上幸子 (高3)、小川明香 (高3) 【埼玉県立三郷工業技術高等学校】  |